

日本水道協会東北地方支部災害時相互応援に関する指針

本指針は、令和8年4月10日に締結した「日本水道協会東北地方支部災害時相互応援に関する協定書」（以下「協定」という。）第18条に基づき、協定の実施に関して必要な事項を定めるものである。

1 用語の定義

- (1) この指針において「手引き」とは、日本水道協会発行の「地震等緊急時対応の手引き」をいう。
- (2) この指針において「手引き様式」とは、手引きの様式をいう。
- (3) この指針において「先遣調査隊」とは、手引きに定めるものと同一であり、被害状況を早期に調査・把握するとともに、応援要請の決定及び受入体制が速やかに行われるようにすることを目的として被災会員へ派遣される部隊をいう。
- (4) この指針において「現地調整隊」とは、手引きに定めるものと同一であり、被害情報の把握・集約や関係者への情報共有を図ることにより応援活動に係る調整、国・関係団体等との連絡調整を図り円滑な応援体制の確立に寄与することを目的として被災会員へ派遣される部隊をいう。

2 相互応援に向けた態勢確保

- (1) 地方支部長及び県支部長は、各支部内で災害等が現に発生し又は発生するおそれがある場合に、災害等の種別に応じて別表1のとおり相互応援に向けた態勢を確保する。

3 情報連絡（第3条関係）

- (1) 県支部長は、県支部内で震度5弱以上の地震が発生した場合及びその他の災害により甚大な水道の被害が現に発生し又は発生するおそれがある場合に、水道の被害状況や応援要請の有無等を確認のうえ、その結果を地方支部長に連絡する。この場合において県支部長への連絡の無い会員に対しては、県支部長の働きかけにより連絡体制を確立し、被害状況等の早期把握に努める。
- (2) (1)において連絡を受けた地方支部長は、連絡のあった県支部長以外の県支部長に情報連絡（応援要請がない場合には電子メールやFAX等による情報連絡）を行う。(1)の場合において連絡の無い県支部に対しては、地方支部長の働きかけにより連絡体制を確立し、被害状況等の早期把握に努める。
- (3) 地方支部長は、土日祝祭日及び夜間等においても県支部長との情報連絡が可能となる災害時連絡表を年度当初に作成し、県支部長に配付する。
- (4) 地方支部長は、災害時における情報連絡体制を確保するため、地方支部及び県支部の事務局に災害時に活用できる通信手段を配備する。
- (5) 地方支部長及び県支部長は上記通信手段の他、固定電話や携帯電話、電子メール、FAX、コミュニケーションアプリ等を活用して災害時における情報連絡体制を確立する。
- (6) 地方支部長及び県支部長は、通常利用する通信手段による連絡が不能となった場合を想定し、平時より災害時に活用できる通信手段による通話確認等を行い情報連絡体制の確立に向けた準備をしておく。

4 情報連絡調整（第4条関係）

（1）被災県支部長が行う情報連絡調整は、以下のとおりとする。

- ①被災会員との連絡調整
- ②地方支部長との連絡調整
- ③水道の被害等に関する情報収集及び応援受入体制の調整支援（震度6（強）以上の地震又は被災会員との協議により、被災県支部内の会員等を先遣調査隊として現地に派遣）
- ④被災県支部内の被害状況の取りまとめ
- ⑤被災県支部内の応援会員及び地方支部長に対する応援要請（規模及び内容等の決定）
- ⑥必要に応じて東北地方整備局への被害状況や応援要請等の情報共有
- ⑦前各号のほか必要な事項

（2）応援県支部長が行う情報連絡調整は、以下のとおりとする。

- ①応援会員との連絡調整
- ②地方支部長との連絡調整
- ③応援県支部内の応援会員に対する応援要請（規模及び内容等の決定）
- ④応援県支部内の応援活動状況の取りまとめ
- ⑤前各号のほか必要な事項

（3）地方支部長が行う情報連絡調整は、以下のとおりとする。

- ①被災県支部長との連絡調整
- ②応援県支部長との連絡調整
- ③日本水道協会本部との連絡調整
- ④応援受入体制の調整支援（震度6（強）以上の地震において、被災県支部からの派遣が困難な場合又は関係支部長との協議により、地方支部内の会員等を先遣調査隊として現地に派遣
※震度6（弱）以下の地震又はその他災害等については被災会員との協議により派遣）
- ⑤水道の被害等に関する情報収集（広域災害等において日本水道協会救援本部からの派遣が困難な場合または今後複数の地方支部に応援が拡大することが想定される場合、日本水道協会救援本部長からの依頼又は必要に応じて、関係県支部長と調整のうえ、地方支部内の会員等を現地調整隊として現地に派遣）
- ⑥地方支部内の被災状況の取りまとめ
- ⑦応援県支部長及び日本水道協会本部に対する応援要請（規模及び内容等の決定）
- ⑧地方支部内の応援活動状況の取りまとめ
- ⑨前各号のほか必要な事項

（4）地方支部長及び県支部長は、被災会員と調整のうえ、日本水道協会の枠組み以外による応援活動（都市間協定、全国市長会、全国町村会、自衛隊等）についても適宜情報集約するよう努める。

（5）地方支部長都市が被災し情報連絡調整を行うことができない場合に、地方支部長の職務を代行又は補佐する会員については、別表2を参考に地方支部長が決定する。

（6）情報連絡調整に関する手順及び書類様式は、以下のとおりとする。

情報連絡・応援要請・出勤・応援活動フロー（東北地方支部資料1）

被害・応援要請情報（手引き様式2）

先遣調査隊の派遣について（手引き様式3）

(1) 地方支部現地救援本部は、地方支部長、被災県支部長、応援県支部長、応援会員、その他必要がある者により構成する。

(3) 地方支部現地救援本部の役割は、以下のとおりとする。

- (4) 地方支部現地救援本部に関する書類様式は、以下のとおりとする。

6 応援要請（第6条関係）

-
- The flowchart illustrates the disaster response procedures for the Tohoku region. It starts with a yellow arrow pointing to the right, labeled ': 応援要請' (Request for Assistance). This arrow leads to a dark blue box labeled '日本水道協会 本部' (Japan Waterworks Association Head Office). From the head office, a yellow arrow points down to a light blue box labeled '東北 地方支部' (Tohoku Regional Branch). A light blue box labeled '東北地方支部内での対応が困難な場合' (When response is difficult within the Tohoku Regional Branch) points to the regional branch. From the regional branch, a yellow arrow points down to a pink box labeled '被災県' (Disaster-stricken Prefecture). A light blue box labeled '県支部内での対応が困難な場合' (When response is difficult within the prefectural branch) points to the prefectural branch. Inside the '被災県' box, there is a red box labeled '被災県支部' (Disaster-stricken Prefectural Branch) and two blue boxes labeled '応援会員' (Support Member). A yellow arrow points from the '被災県支部' to the '被災県' box, and another yellow arrow points from the '被災県支部' to the '被災県' box. A yellow starburst labeled '災害' (Disaster) is next to the '被災県支部' box. From the '被災県' box, a yellow arrow points down to a light blue box labeled '応援県' (Support Prefecture). A light blue box labeled '被災県支部内での対応が困難な場合' (When response is difficult within the prefectural branch) points to the prefectural branch. Inside the '応援県' box, there is a blue box labeled '応援県支部' (Support Prefectural Branch) and two blue boxes labeled '応援会員' (Support Member). A yellow arrow points from the '応援県支部' to the '応援県' box, and another yellow arrow points from the '応援県支部' to the '応援県' box.

- (2) 応援要請は、以下の事項を明らかにし、文書で行うものとする。

- (3) 災害の状況により文書で応援要請を行う暇がないときには、口頭で応援要請を行うことができるものとするが、状況が改善した後、速やかに応援要請書を要請先に提出するものとする。

- (4) 感染症のまん延などにより、東北地方支部内において都市間・地域間の移動が制限されている場合であっても、応援要請を行うことができるものとする。ただし、応援会員の都市間・地域間の移動が法令等に違反する場合を除く。(東北地方支部資料2)
- (5) 応援要請に関する手順及び書類様式は、以下のとおりとする。
 - 情報連絡・応援要請・応援活動フロー(東北地方支部資料1)
 - 被害・応援要請情報(手引き様式2)
 - 応援要請書(手引き様式5)
 - 応援要請書(地方支部・県支部用)(応援様式1)

7 応援活動(第7条関係)

- (1) 被災会員は、応援活動を指揮する。
- (2) 応援隊は、被災会員の指示に従い応援活動を行う。
- (3) 応援会員は、応援隊の交替に際して応援活動の内容が確実に引き継がれるよう配慮する。

8 応急給水(第7条(1)関係)

- (1) 会員は、応急給水隊の受け入れを想定し、円滑な応急給水活動が展開できるよう、以下の事項が明記された応急給水マニュアル等を準備しておくこと。
 - ① 応急給水の方法
 - ② 給水基地となる水道施設等
 - ③ 応急給水拠点の位置
 - ④ 給水車、資機材等の保有リスト
 - ⑤ 応急給水作業に関する指示・報告書類の様式
 - ⑥ 応急給水隊との連絡方法
- (2) 県支部長は、県支部内の会員が作成した応急給水マニュアル等の内容の把握に努める。
- (3) 被災会員は、応急給水を行うにあたり、応急給水計画を策定し、その計画に基づいて応急給水隊の応援活動を指揮する。
- (4) 被災会員及び応援会員は、応援活動にあたり感染症の影響が懸念される場合においては、資料2を準用した対策を講じる。
- (5) 応急給水に関する手順及び書類様式は、以下のとおりとする。
 - 情報連絡・応援要請・出勤・応援活動フロー(東北地方支部資料1)
 - 給水車準備・活動状況(手引き様式6)(手入力用)
 - 給水車準備・活動状況(手引き様式6)(給水車DB連動版)
 - 応急給水応援体制報告書(手引き様式15)
 - 応急給水作業指示書(手引き様式16(表))
 - 応急給水作業報告書(手引き様式16(裏))
 - 応急給水作業予定表(手引き様式17)
 - 応急給水作業集約表(手引き様式18)
 - 水道施設被害状況等調査票(手引き様式19)

9 応急復旧(第7条(2)関係)

- (1) 会員は、応急復旧隊の受け入れを想定し、円滑な応急復旧活動が展開できるよう、以下の事

項が明記された応急復旧マニュアル等を準備しておくこと。

- ①応急復旧の方法
- ②復旧優先路線の設定
- ③応急復旧の手順
- ④用地、資機材等の確保
- ⑤施設図、配水系統図、配水系統変更図等
- ⑥応急復旧作業に関する指示・報告書類の様式
- ⑦応急復旧隊との連絡方法
- ⑧応急復旧作業記録の整備

(2) 県支部長は、県支部内の会員が作成した応急復旧マニュアル等の内容の把握に努める。

(3) 被災会員は、応急復旧を行うにあたり、応急復旧計画を策定し、その計画に基づいて応急復旧隊の応援活動を指揮する。

(4) 被災会員及び応援会員は、応援活動にあたり感染症の影響が懸念される場合においては、資料2を準用した対策を講じる。

(5) 応急復旧に関する手順及び書類様式は、以下のとおりとする。

情報連絡・応援要請・出勤・応援活動フロー（東北地方支部資料1）

応急復旧応援班準備・活動状況（応援様式2）

応急復旧現地活動状況（手引き様式7）

応急復旧応援体制報告書（手引き様式20）

漏水調査受付書（手引き様式21（表））

漏水調査報告書（手引き様式21（裏））

応急復旧活動対応表（手引き様式22）

管路修理報告書（手引き様式23）

管路修理集約表（手引き様式24）

管路被害算定表（管種・口径・被害形態別）（手引き様式25）

黒板（撮影表示板）の作成（手引き様式26）

10 資機材の提供（第7条（3）関係）

(1) 会員は、水道の被害が発生した場合の対応に必要な資機材を平時より準備する。（参考資料：別表3及び別表4）

(2) 会員は、資機材の備蓄及び整備状況を年度当初に調査し、その状況を把握する。

(3) 地方支部長は県支部長と協力し、地方支部内の会員による資機材の保有状況を毎年度第1四半期に調査し、調査結果を各県支部長と共有する。（調査様式1～6）

(4) 被災会員は、資機材提供の応援要請に際して、必要となる資機材を選定する。（参考資料：別表3及び別表4）

11 工事事業者等の斡旋（第7条（4）関係）

(1) 会員は、大規模な災害が発生した場合に備え、管工事協同組合及び漏水調査会社との協定締結等により会員以外的人员、資機材及び技術力等について応援や協力が得られる体制の構築に努める。

1 2 応援隊の派遣（第8条関係）

- （1）応援会員は、応援隊を派遣する際に、応援活動の内容に応じて必要な資機材を携行させるほか、必要な装備を携行させる。（参考資料：別表3～5）
- （2）応援会員が応援隊を派遣する場合の基本編成は、以下のとおりとする。
 応急給水隊（別表6）・応急復旧隊（別表7）

1 3 応援隊の受け入れ（第9条関係）

- （1）会員は、協定に基づく応援隊の受け入れを想定し、円滑な受け入れができるよう、応援隊の受け入れマニュアル等を準備しておくこと。
- （2）会員は、協定に基づく応援隊の受け入れを想定し、応援隊の宿泊施設や駐車場、会議室及び電源の確保等について、予め検討しておく。
- （3）被災会員は、応急給水の状況及び被災した水道施設の復旧状況並びに燃料の補給場所等に関する情報を、定期的に応援隊に提供できるよう、定時ミーティング等の機会を設ける。

1 4 中継会員（第10条関係）

- （1）中継会員は、情報が不明確で応援隊の活動場所等が確定されない等の状況において遠方から派遣される応援隊の当面の目的地となる。
- （2）中継会員は、応援隊の休憩場所や応援車両の駐車場の提供等、応援会員の移動補助を目的とした活動を行う。
- （3）中継会員は、応援隊の休憩場所や駐車場の提供にあたり、既存の庁舎や敷地を開放するなど、特段の費用負担が生じないように留意する。やむを得ず費用が発生する場合には、応援活動の費用負担に準じて扱うものとする。
- （4）中継会員に関する書類様式は、以下のとおりとする。
 中継水道事業体使用可能施設報告書（手引き様式8）

1 5 支援拠点会員（第11条関係）

- （1）支援拠点会員の役割は、以下のとおりとする。
 - ①給水基地の提供
 - ②応援隊の宿泊施設確保の補助
 - ③被災県支部長等との情報連絡の補助
- （2）支援拠点会員は、応援隊の休憩場所や駐車場の提供にあたり、既存の庁舎や敷地を開放するなど、特段の費用負担が生じないように留意する。やむを得ず費用が発生する場合には、応援活動の費用負担に準じて扱うものとする。
- （3）支援拠点会員に関する書類様式は、以下のとおりとする。
 支援拠点水道事業体の（設置・変更）について（手引き様式9）

1 6 応援活動の終了（第12条関係）

- （1）応援活動の終了に関する書類様式は以下のとおりとする。
 応援活動に関する（報告・通知）書（応援様式3）

1 7 応援活動の費用負担（第13条関係）

- (1) 被災会員と応援会員の費用負担の区分は別表8のとおりとする。
- (2) 先遣調査隊の活動は応援活動の前提となる行為であるため、派遣に要する費用は被災会員が負担とする。(別表8)
- (3) 会員が自身の判断で現地に赴き水道の被害等に関する情報収集を行う費用については、当該会員の負担とする。ただし、地方支部長の依頼に基づく先遣調査隊としての情報収集を行う場合を除く。
- (4) 応援会員が国及び地方公共団体等から応援活動に要した費用の補填を受けた場合に、被災会員はその補填額を差し引いた金額を負担する。
- (5) 応援会員が応援活動を行うにあたり特別に費用を要した場合には、その費用を被災会員が負担する。
- (6) 応援会員が資機材を被災会員に提供した場合は、協議のうえ当該資機材の同等品又は購入金額により被災会員が負担する。

18 その他

- (1) 災害時の相互応援に関して本指針に定めのない事項については、手引きに記載の方法による。

附則

(適用)

この指針は、平成9年5月1日から適用する。

附則(平成18年3月23日改定)

(適用)

この指針は、平成18年3月23日から適用する。

附則(平成26年4月11日改定)

(適用)

この指針は、平成26年4月11日から適用する。

附則(令和2年8月14日改定)

(適用)

この指針は、令和2年8月14日から適用する。

附則(令和8年4月10日改定)

(適用)

この指針は、令和8年4月10日から適用する。

別表・資料・様式一覧

1. 別表

記号番号	名 称
別表 1	相互応援に向けた東北地方支部長及び県支部長の態勢
別表 2	地方支部長被災時の職務代行・補助者
別表 3	応急給水資機材一覧
別表 4	応急復旧資機材一覧
別表 5	装備品一覧
別表 6	応急給水隊の編成
別表 7	応急復旧隊の編成
別表 8	費用負担の区分

2. 資料

記号番号	名 称
資料 1 ★	情報連絡・応援要請・応援活動フロー
資料 2	新型コロナウイルスの感染が懸念される状況における応援活動の留意点

3. 調査様式

記号番号	名 称
調査様式 1	資材（管類・継手類）の保有状況
調査様式 2	給水車等の保有状況
調査様式 3	拠点給水用ソフトタンク・バッグ・バルーンの保有状況
調査様式 4	応急給水袋・ポリタンクの保有状況
調査様式 5	その他（ペットボトル・備蓄水等）の保有状況
調査様式 6	事業体毎の機材等保有状況

4. 応援様式

記号番号	名 称
応援様式 1 ★	応援要請書（地方支部・県支部用）
応援様式 2 ★	応急復旧応援班準備・活動状況
応援様式 3	応援活動に関する（報告・通知）書

5. 手引き様式

記号番号	名 称
手引き様式 2 ★	被害・応援要請情報
手引き様式 3	先遣調査隊の派遣について
手引き様式 5 ★	応援要請書（被災事業体用）
手引き様式 6 ★	給水車準備・活動状況
手引き様式 7	応急復旧現地活動状況
手引き様式 8	中継水道事業体使用可能施設報告書
手引き様式 9	支援拠点水道事業体の（設置・変更）について
手引き様式 10	水道給水対策本部の（設置・変更）について
手引き様式 15 ★	応急給水応援体制報告書
手引き様式 16（表）	応急給水作業指示書
手引き様式 16（裏）	応急給水作業報告書
手引き様式 17	応急給水作業予定表
手引き様式 18	応急給水作業集約表
手引き様式 19	水道施設被害状況等調査票
手引き様式 20 ★	応急復旧応援体制報告書
手引き様式 21（表）	漏水調査受付書
手引き様式 21（裏）	漏水調査報告書
手引き様式 22	応急復旧活動対応表
手引き様式 23	管路修理報告書
手引き様式 24	管路修理集約表
手引き様式 25	管路被害算定表（管種・口径・被害形態別）
手引き様式 26	黒板（撮影表示板）作成
手引き様式 28	水道施設の被災・復旧状況一覧表

★：災害発生から応援隊出動までの初動期に使用するフロー及び様式

別表1 相互応援に向けた東北地方支部長及び県支部長の態勢

1. 地震

態勢種別	態勢確保の時期	東北地方支部長及び県支部長の態勢の内容
注意態勢	・各支部内で震度5弱の地震が発生	・情報連絡により水道の被害状況や応援要請の有無等について確認する。 ・状況に応じて上位の配備に移行する態勢を確保する。
警戒態勢	・各支部内で震度5強の地震が発生	・情報連絡により水道の被害状況や応援要請の有無等について確認する。 ・応援要請等に対応する準備を進める。 ・状況に応じて上位の配備に移行する態勢を確保する。
非常態勢	・各支部内で震度6弱以上の地震が発生 ・各支部内で地震による甚大な水道の被害の発生を把握	・情報連絡により水道の被害状況や応援要請の有無等について確認する。 ・応援要請等に迅速に対応できる態勢を確保する。

2. その他災害

態勢種別	態勢確保の時期	東北地方支部長及び県支部長の態勢の内容
注意態勢	・各支部内で大雨等※の特別警報が発表 ・地方支部長の要請	・被害発生時に迅速な情報連絡を行える態勢を確保する。 ・状況に応じて上位の配備に移行する態勢を確保する。
警戒態勢	・特別警報が発表された大雨等※が各支部内で現に発生 ・地方支部長の要請	・会員事業体における被害状況の把握が可能になったと思われる時点で、情報連絡により水道の被害状況や応援要請の有無等について確認する。 ・応援要請等に対応する準備を進める。 ・状況に応じて上位の配備に移行する態勢を確保する。
非常態勢	・各支部内で災害（地震を除く）による甚大な水道の被害の発生を把握	・情報連絡により水道の被害状況や応援要請の有無等について確認する。 ・応援要請等に迅速に対応できる態勢を確保する。

※大雨等：大雨，暴風，暴風雪，大雪，津波，火山噴火

別表2 地方支部長被災時の職務代行・補助者

以下の優先順位により、職務代行又は補助の対応が可能な者から候補者を選定する。	
優先順位	職務代行・補助者
第1位	青森県支部長
第2位	秋田県支部長
第3位	岩手県支部長
第4位	福島県支部長
第5位	山形県支部長
第6位	宮城県支部長

別表3 応急給水資機材一覧(例)

分 類	応急給水資機材	備 考
車両	給水車 トラック(給水タンク、その他資材等運搬用) 広報車	・給水車は加圧式が望ましい。上水道用可搬式電動ポンプ等の搭載も有効。 ・車両にはカーナビゲーションシステムの設置が有効。 ・季節により凍結対策(チェーン、スタットレスタイヤ装着等)
保安設備	カラーコーン コーンバー 照明機器 発電機* ₂ コードリール	* ₂ その他の作業用電源と共有
安全装備類	安全帯	
給水機材	布ホース* ₁ 仮設給水栓セット エンジンポンプ 水中ポンプ	* ₁ 応急給水に適したもの
給水容器	仮設水槽 給水タンク(トラック架設用) ポリタンク 給水袋	・ポリタンクは10ℓ以下が望ましい。 ・給水袋は6ℓ以下が望ましい。 ・上記の他、持ち運び考慮した容量とする。
その他	携帯用残留塩素計 拡声器(乾電池) 携帯電話(充電器含む) 懐中電灯(乾電池) 携帯ラジオ(乾電池) パソコン(周辺機器含む)* ₃ 携帯無線 救急箱	* ₃ パソコン周辺機器、電源延長コード類、LANケーブル、プリンター(インク含む)、Wifiルーター等

別表4-1 応急復旧資機材一覧（例）【通水及び漏水調査班：水道事業体】

分 類	資機材名称	備 考
車両等	緊急車（指揮車） ライトバン（連絡用）	季節により凍結対策 （チェーン、スタットレスタイヤ装着時）
保安設備	カラーコーン コーンバー ハロゲンランプ 簡易回転灯 交通誘導灯	
安全装備類	安全帯 酸素濃度測定器	
配水調整用資材	制水弁用開栓器（バルブキー） 蓋カギ スタンドパイプ 布ホース 水質測定器（* ₁ ） 残留塩素測定器 色・濁確認容器 簡易流量計	（* ₁ ） 携帯型p h計 携帯型濁色度計等
工具類外	断水コマ等 工具類一式	トルクレンチ、スパナ、ハンマー、 曲尺等
漏水調査器具	相関式漏水発見装置（* ₂ ） 電子式漏水発見器（* ₂ ） 埋設管探知機（* ₂ ） 音聴棒 距離計 水圧ゲージ	（* ₂ ）複数台所有しており携行が可能な場合
その他	携帯電話 携帯無線 懐中電灯（乾電池） カメラ（電池、フィルム、メモリー） 救急箱 パソコン（周辺機器含む）（* ₃ ） 携帯ラジオ トランシーバー ハンドマイク ロープ 酸欠防止用具 予備燃料及び燃料タンク	* ₃ パソコン周辺機器、電源延長コード類、LAN ケーブル、プリンター（インク含む）、WIFI ルーター等

別表4-2 応急復旧資機材一覧（例）【修繕班：工事事業者】

分 類	資機材名称	備 考
車両等	掘削機械（小型バックホウ） 運搬車（クレーン付） 作業車（工作車） ダンプトラック（残土等運搬） ライトバン	季節により凍結対策 （チェーン、スタットレスタイヤ装着 等）
保安設備	工事看板 バリケード カラーコーン コーンバー ハロゲンランプ 簡易回転灯 交通誘導等 発動発電機（* ₁ ） 予備燃料（燃料タンク）（* ₁ ）	（* ₁ ） 他の機器と共有
配水調整用資材	バルブ、止水栓用開栓器 蓋カギ スタンドパイプ 布ホース 水質測定器（* ₅ ）	（* ₅ ） 携帯型 PH 計 携帯型濁色度計等
修理材料	給・配水補修金具等 付属設備 埋め戻し土（真砂土等） 仮復旧合材（常温材） 断水コマ	
接合工具	ビニル管接合工具一式 ポリエチレン管接合工具一式 鉛管接合工具一式 継手接合器材（* ₂ ）	（* ₂ ）トルクレンチ、スパナ、曲尺等
切管工具	リードカッター エンジンカッター ローリングカッター 電気ドリル 穿孔機 コードリール	電子式漏水発見器 埋設管探知機 音聴棒

分 類	資機材名称	備 考
<u>掘削埋戻し工具</u>	<u>黒板（撮影表示板）</u> <u>つるはし</u> <u>スコップ</u> <u>ハンドブレーカー</u> <u>転圧機（*₃）</u> <u>投光器</u> <u>土留め材料（*₄）</u> <u>土のう袋</u> <u>コンクリートカッター</u> <u>コンプレッサー</u>	<u>距離計</u> <u>水圧ゲージ</u> <u>その他</u> <u>配管図</u> <u>携帯無線</u> <u>トランシーバー</u> <u>ハンドマイク</u> <u>ハンマー</u> <u>酸欠防止用具</u>
<u>排水工具</u>	<u>水中ポンプ</u> <u>布ホース</u>	
<u>漏水調査器具</u>	<u>相関式漏水発見装置（*₆）</u> <u>電子式漏水発見器（*₆）</u> <u>埋設管探知機（*₆）</u> <u>音聴棒</u> <u>距離計</u> <u>水圧ゲージ</u>	<u>（*₆）所有しており携行が可能な場合</u>
<u>その他</u>	<u>携帯電話</u> <u>携帯無線</u> <u>携帯ラジオ</u> <u>トランシーバー</u> <u>ハンドマイク</u> <u>懐中電灯</u> <u>カメラ（電池、フィルム、メモリー）</u> <u>ロープ</u> <u>工具類（ハンマー等一式）</u> <u>各種予備電池</u> <u>救急箱</u> <u>酸欠防止用具</u>	

別表5 装備品一覧

1. 応援水道事業体職員であることを証明するもの

品 名	数 量	摘 要
身分証明書	隊員個々に準備	
名札	隊員個々に準備	
運転免許証	隊員個々に準備	
健康保険証	隊員個々に準備	
腕章（事業体名称入り）	隊員の人員分	

2. 派遣時の服装及び携行するもの

品 名	数 量	摘 要
作業着（上下）+着替え+ベルト	隊員個々に準備	※季節により夏用、冬用を持参 ※貸与を受けていない隊員には庶務担当が手配する。 ※安全上長袖着用
雨具、防寒着、安全ベスト	隊員個々に準備	
安全靴、ゴム長靴	隊員個々に準備	
ヘルメット、帽子	隊員個々に準備	
手袋（軍手、皮手袋）	隊員個々に準備	
スニーカー、上履き等（移動時等）	隊員個々に準備	
下着、靴下（派遣日数分+ α ）	隊員個々に準備	※季節を考慮して持参

3. 生活、衛生面で必要なもの

品 名	数 量	摘 要
発電機（小型）	1台/1隊当り	※宿泊施設が確保できなかった場合又は水道施設内に宿泊する場合に必要なと考えられる物品を参考列記 ※派遣先に持参する物品を選択
発電機燃料用携行缶	1個/1隊当り	
投光器	2基/1隊当り	
ドラムコード（50m）	2個/1隊当り	
寝具類（寝袋、毛布、枕等）	隊員数分	
テント（隊員宿泊用）		※テント（2～3人/1張（感染症対策を要する場合は1人/1張）を目安）
簡易シャワー		※受援事業体に確認し要・不要を判断
洗面具（タオル、歯ブラシ等）	隊員個々に準備	※替えや予備を持参すると便利
携帯・簡易トイレ	100個/1隊当たり	1人1日5回×5名×4日を目安
懐中電灯（電池式、充電式）	3本×1隊	
乾電池（単一、単三等）	6本/1隊×日数	※応援隊の入れ替え時に補給

4. 調理・給食関係で必要なもの

品 名	数 量	摘 要
携帯用ガスコンロ	2個/1隊当り	
ガスボンベ（詰め替え用）	6本/1隊当り	
調理器具類（鍋、やかん等）	2個/1隊当り	
食器類A（茶碗類）	×隊員数	
食器類B（使い捨て容器等）	隊員数×日数×3	
割り箸、使い捨てスプーン等	隊員数×日数×3	
包丁	1本×1隊	
まな板	1枚×1隊	
缶切り		
電気ポット	1個×1隊	

5. 食料等

品 名	数 量	摘 要
飲料水（ペットボトル1.5ℓ）	隊員数×2本×日数	※受援事業体等に確認し、現地の店、コンビニ等の営業状況を確認後、持参物を決定 ※住民に支障のない範囲で現地調達 ※カップ麺、レトルト、缶詰類等の痛まない食品類は次隊に引継ぎ
カップ麺	隊員数×3個×日数	
レトルト食品（白飯、惣菜等）	隊員数×3個×日数	
缶詰類（飯類、惣菜副食類等）	隊員数×3個×日数	
その他食料品	必要に応じて	

6. 救急医療薬品等

品 名	数 量	摘 要
救急箱一式	数種類×必要数	風邪、胃腸薬、外傷薬、目薬
包帯	必要数	
マスク	必要数	粉じん対策、感染症予防
栄養剤（ビタミン剤）	必要数	
フェイスシールド	隊員数	感染症予防
消毒アルコール、除菌スプレー	必要数	感染症予防
使い捨てカイロ		
虫よけスプレー	5本/1隊当り	

7. 車両関係

品 名	数 量	摘 要
タイヤチェーン等	車両台数分	冬期派遣時
E T Cカード	車両台数分	
派遣車両のスペアキー	必要数	受援事業体に預ける（駐車場所の移動に使用）
災害派遣等従事車両証明書	車両台数分	
緊急車両標章（事業体名称入り） （横断幕、マグネット、旗等）	派遣車両数分	輸送用車両、給水隊用、復旧隊用

8. 通信機器・情報機器類

品 名	数 量	摘 要
ノートPC		
携帯電話・スマートフォン		
衛星電話		
デジタルカメラ		記録用
プリンタ		インクカートリッジ含む
携帯ラジオ		
カードリーダー（SDカード等）		PCの仕様
電源延長コード		
OAタップ		

9. その他

品 名	数 量	摘 要
派遣先の地図		
方位磁石		衛星電話の受信方角確認
充電器		カメラ、携帯、電池用
ティッシュペーパー		
文房具一式		ペン、マーカー、付箋、はさみ、ホチキス等

別表6 応急給水隊の編成

編成	○応急給水隊の基本単位を応急給水班とする。 ○応急給水班1班（給水車1台）あたり、2～3名の給水要員による体制を標準とする。 ○トラック等による運搬給水の場合、必要に応じて運転手1名を増員する。 ○3班以上の応急給水班からなる応急給水隊を編成する場合には、被災会員と調整のうえ、指揮監督するための総括責任者を含めて派遣することが望ましい。
派遣期間	○応援活動の継続性、職員の健康等を考慮して、1班あたりの派遣期間は、概ね実働1週間とする。

別表7 応急復旧隊の編成

編成	○応急復旧隊の基本単位を応急復旧班とする。 ○応急復旧班は、総括班、漏水調査班、修理班により構成されることを標準とする。 【総括班】 総括責任者 1名 連絡員 1名 記録者 1名 ・総括責任者は被災会員の責任者と連絡調整し、各班の指揮監督を行う。 ・連絡員は、漏水調査班、修理班との連絡調整を行う。 ・記録者は、作業内容等の応援活動を記録するとともに、連絡員を補助する。 【漏水調査班】1班あたり 漏水調査班（1班）の編成は、以下を標準とするが、被害状況や応援の規模に応じて適宜増員する必要がある。 責任者 1名 作業員 3名 【修理班】1班あたり 修理班（1班）の編成は、配水管と給水管の両方を修理できる編成とし、以下を標準とするが、被害状況や応援の規模に応じて適宜増員する必要がある。 責任者 1名 作業員 5名（施工業者） ・作業員は世話役、配管工、運転手、特殊作業員、普通作業員で構成する。 ・3班以上の応援隊を派遣する場合は、被災事業体の責任者と連絡調整し、指揮監督するための、総括責任者を含め派遣する。
派遣期間	○応援活動の継続性、職員の健康等を考慮し、1班あたりの派遣期間は、概ね実働1週間とする。

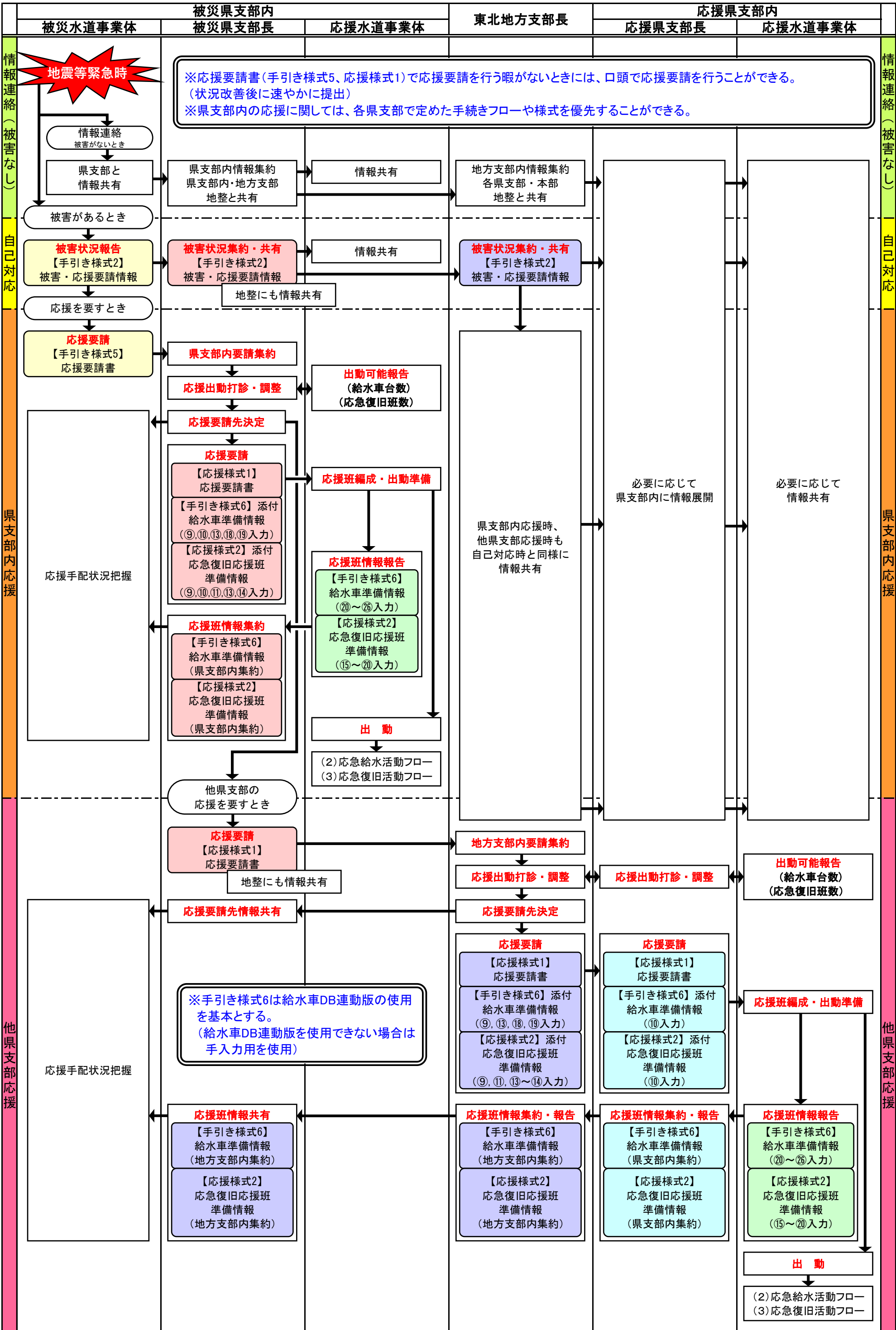
別表8 費用負担の区分

費 用	被災会員が負担すべき費用	応援会員が負担すべき費用
人件費等	<u>超過勤務手当</u> <u>深夜勤務手当</u> <u>特殊勤務手当</u> <u>管理職員特別勤務手当</u> <u>旅費（日当含む）</u>	<u>給料</u> <u>地域手当等基本的な手当</u>
材料費	<u>継ぎ手、直管、異形管、</u> <u>弁栓類、弁きょう、鉄蓋類</u> <u>給水袋等 等</u>	
請負工事代金	<u>工事請負費（材料費、労務費、</u> <u>機械器具損料、滞在費、諸経費等）</u>	
委託費	<u>委託費（漏水調査業務等）</u>	
車両、機材等の費用	<u>燃料費（ガソリン、軽油）</u> <u>修理費</u> <u>賃借料</u> <u>輸送料（機材等の輸送に係る有料道路</u> <u>料金、フェリー料金等）</u> <u>寒冷地等に必要な装備等（スタットレ</u> <u>スタイヤ等の賃借料）</u>	<u>損料</u>
滞在費用	<u>食料費（弁当、現地での食事等）</u> <u>宿泊費（仮設ハウス設置費用、ホテル等</u> <u>宿泊費）</u>	<u>携行する食料費</u> <u>携行する寝袋、テント等</u> <u>被服（防寒服・割当のない職員分・クリーニ</u> <u>ング代）</u> <u>生活用品、その他福利厚生費</u>
その他事務費等	<u>写真代「工事確認用」</u> <u>作業用消耗品</u> <u>通信費（電話料金、FAX、インターネット等）</u> <u>トランシーバー</u> <u>消火器</u> <u>地図</u> <u>コピー代</u>	<u>写真代「記録・報告・広報用」</u> <u>その他事務用品</u>
補償関係費用	<u>応援職員の傷病に対する応急的な処置</u> <u>に係る費用</u> <u>第三者に対する損害賠償金</u> <u>「応援作業中の事故等」</u>	<u>応援職員の災害補償費</u> <u>「出張中の公務災害」</u> <u>第三者に対する損害賠償金</u> <u>「往復途上の事故等」</u>

情報連絡・応援要請・応援活動フロー

(1) 応援要請フロー

令和7年9月11日一部修正

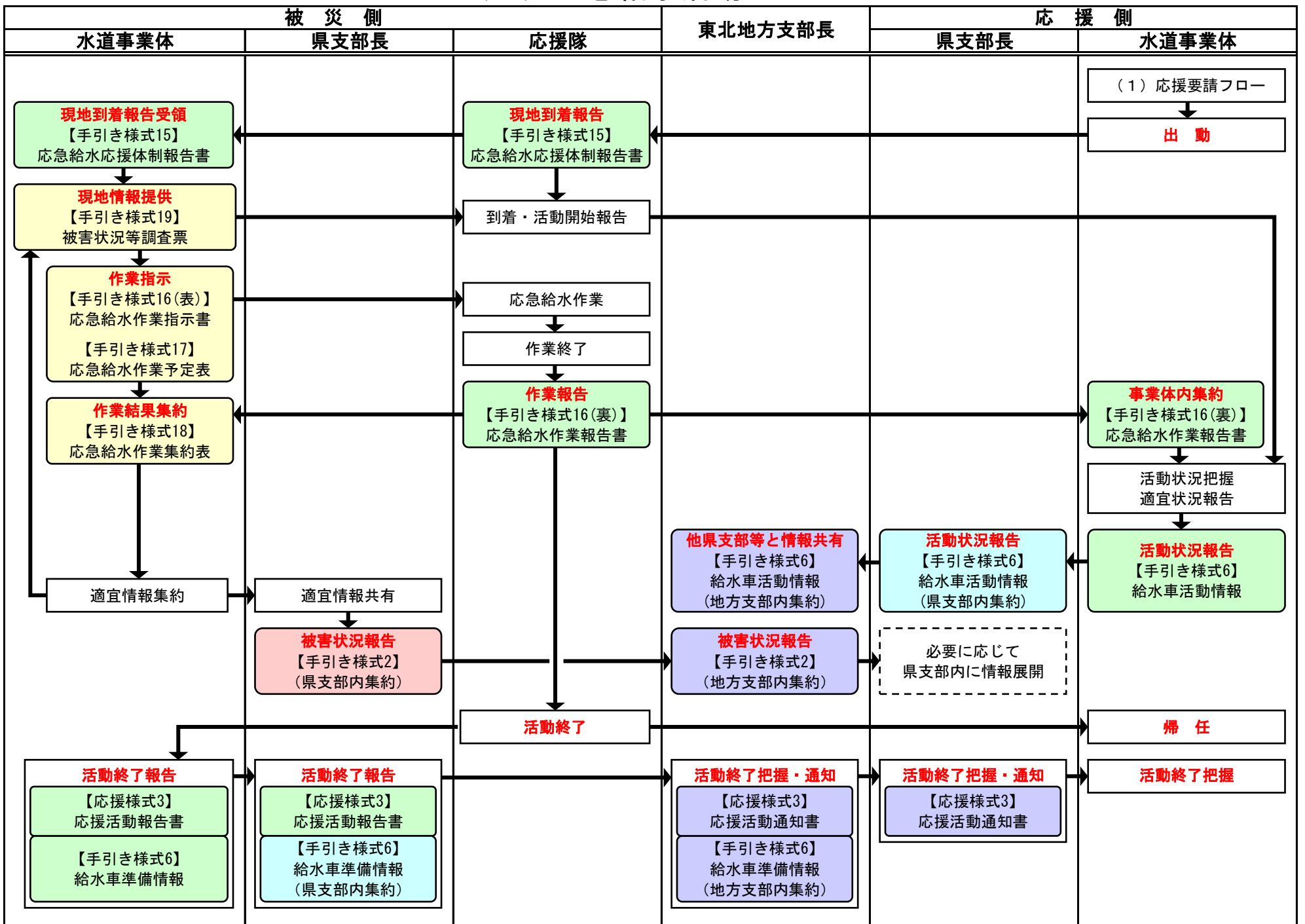


作成・編集者凡例

被災事業体	被災県支部	東北地方支部	応援県支部	応援事業体
-------	-------	--------	-------	-------

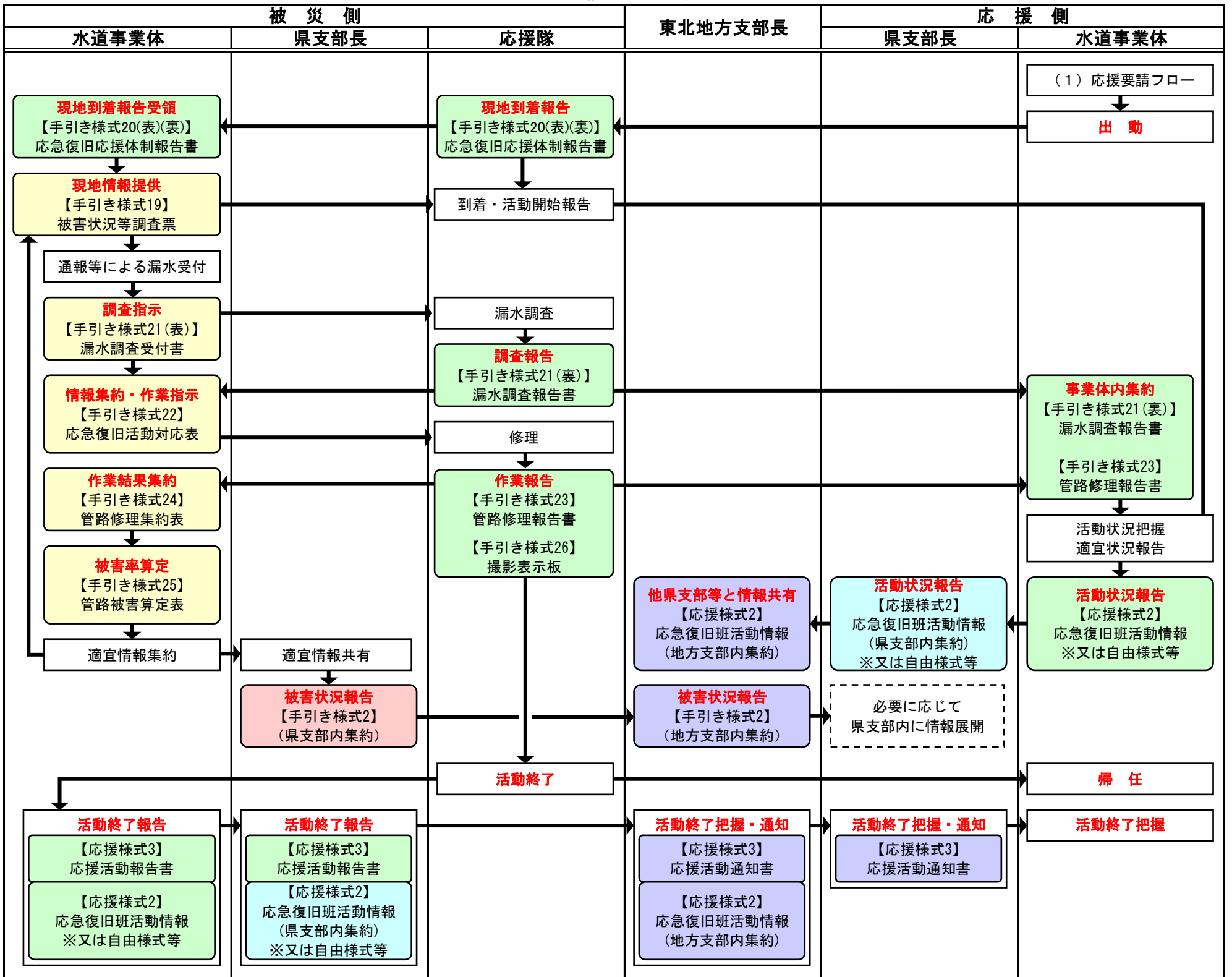
(2) 応急給水活動フロー

令和7年9月11日一部修正



(3) 応急復旧活動フロー

令和7年9月11日一部修正



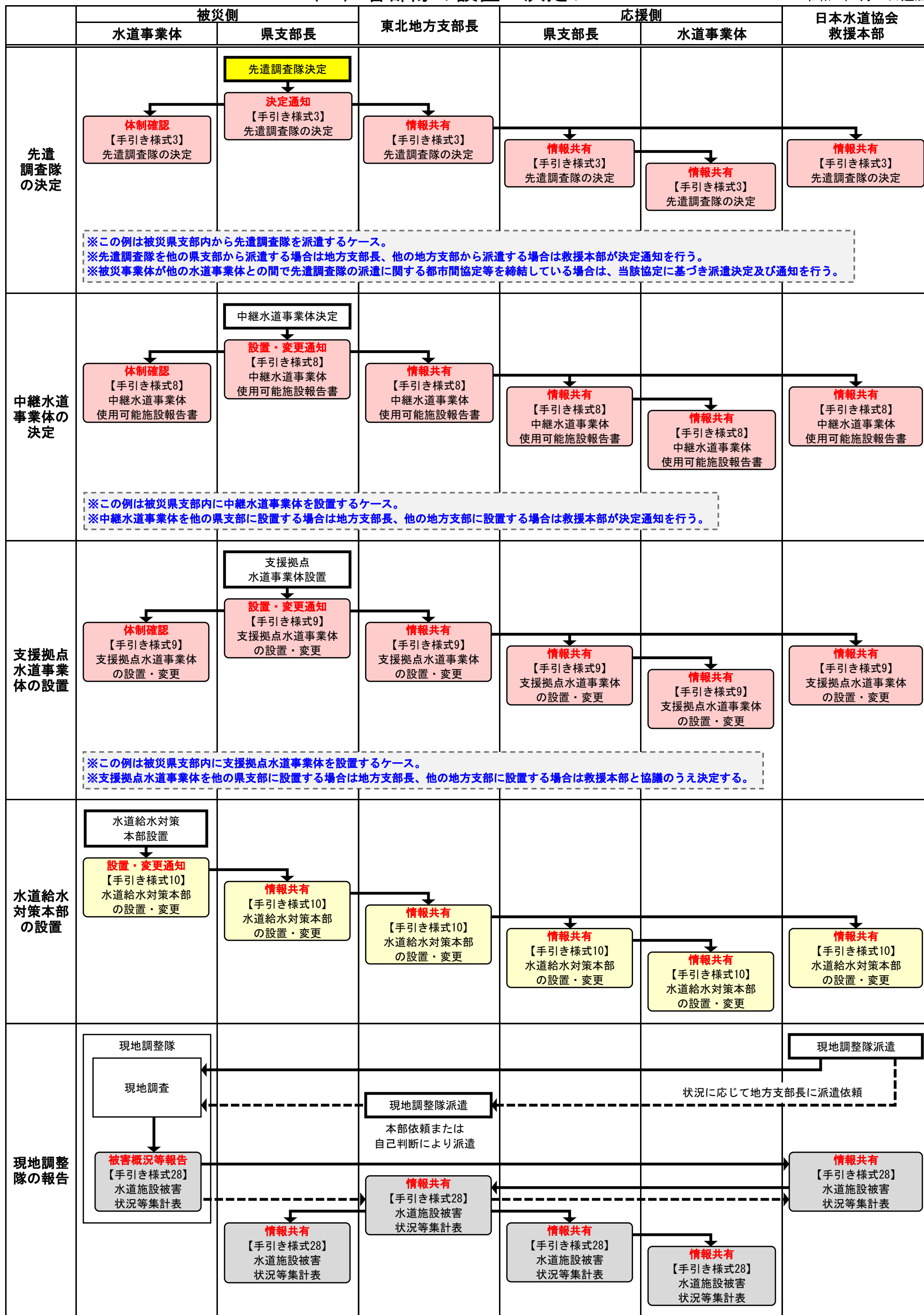
作成・編集者凡例

被災事業体 被災県支部 東北地方支部 応援県支部 応援事業体

※【被災側県支部長】は県支部内の応援水道事業者に対し
【応援側県支部長】としての情報連絡も行う。

(4) 各部隊の設置・決定フロー

令和7年9月11日追加



作成・編集者凡例

被災事業体 被災県支部 東北地方支部 応援県支部 応援事業体

※[被災側県支部長]は県支部内の応援水道事業者に対し
[応援側県支部長]としての情報連絡も行う。

新型コロナウイルスの感染が懸念される状況における応援活動の留意点（まとめ）

災害により大規模な断水等が発生した際には、「地震等緊急時対応の手引き」に基づき応援活動が実施されることとなるが、新型コロナウイルス感染症の発生が続く状況下での応援職員の派遣については、感染症の拡大防止に十分留意する必要がある。

このため、本資料は、「地震等緊急時対応の手引き」の枠組みを基本としつつ、「被災市区町村応援職員確保システムに基づく応援職員の派遣における新型コロナウイルス感染症に係る留意事項について」（令和2年5月22日付け総務省自治財政局公務員部公務員課応援派遣室長通知）などを参考に、本協会会員が応援活動を実施する際の留意点について取りまとめたものである。

	平常時の準備	災害等発生時
受援水道事業体	①受入準備 - 各水道事業体は、感染拡大を防止するため、応援を受け入れるに当たってのルールを決めておく 例) 感染者発生状況等の応援水道事業体への情報提供項目 - 応援水道事業体に準備を依頼する感染症対策に必要な物資・資材 ※1 - 応援活動において感染予防のために留意すべき事項 - 応援水道事業体において感染が疑われる職員が生じた場合の受援水道事業体内の連絡窓口及び受診可能医療機関 等 ②感染症対策に必要な物資・資材 - 感染症対策に必要な物資・資材については、自らが被災した場合を想定してその確保に努める 例) マスク、フェイスシールド、手袋、消毒液、石けん、体温計、ビニール袋等 ③新型コロナウイルス感染症対策本部との連携体制 - 各自治体において新型コロナウイルス感染症対策本部が設置される場合、当該本部からの情報・指示等を自組織並びに応援水道事業体に対して迅速に提供できるよう連携体制を確保しておく ④応急給水を行う場所等における感染予防対策 - 応急給水を行う場所等における、住民の感染予防を図るための対策（職員のフェイスシールド着用、対人距離の確保等）を検討しておく - 応急給水を行う場所等での留意事項（給水を受ける際の三密回避、マスク着用等）について住民理解を促すための広報を必要に応じて実施しておく ⑤活動場所における感染予防対策 - 職員及び応援水道事業体が活動する場所（執務スペース、会議場所等）において三密が避けられるよう、必要な感染予防対策を検討しておく	①基本的な感染予防対策 - こまめな手洗い（消毒液可）・うがい、咳エチケット、マスク着用等の基本的な感染予防対策を講ずる - 職員及び応援水道事業体が活動する場所において、十分な換気に努め、人と人との接触の低減を図り、三密を避ける - 共同で使用する物品・機器等の消毒を行う - 住民に接する活動は、状況に応じフェイスシールドを着用するなど、配慮する - 定期的な検温を実施する等、職員の健康状態を確認する ②応援要請に当たっての留意事項 ※1 - 応援要請の際は、応援水道事業体において準備すべき物資・資材（マスク、フェイスシールド等）を明示するとともに、応援活動において感染予防のために留意すべき事項、感染が疑われる職員が生じた場合における受援水道事業体内の連絡窓口及び受診可能医療機関などを連絡する - 応援要請の際は、感染者発生状況等の情報を提供するとともに、応援活動開始後の日々の情報についても、同様に提供するよう努める ③活動の記録 - 活動に従事する職員は、自らの行動履歴等の記録を行い、感染した場合に保健所等からの要請により情報提供ができるようにしておく ④会議等の開催 - 会議等を行う際は、出席者を必要最少限とし、出席者間の間隔を広く保ち、必要以上の交錯がないように導線に留意する - 十分な換気を行い、人と人との接触の低減を図ることにより三密を避ける - 必要に応じて web 会議、電話、メール等を有効活用し、情報共有を行う ⑤車両の消毒等 - 要員交替の際など、車両共用部（運転席、ハンドル、ダッシュボード等）の消毒を行う - 他組織の車両などへの同乗はできるだけ避ける ⑥感染が疑われる場合 - 応援水道事業体から感染が疑われる職員が生じた旨の連絡を受けたときは、応援水道事業体により管轄する保健所等へ円滑に連絡が行えるよう、必要な対応の調整を行う
被災都府県支部長等 被災地方支部長 日本水協救援本部		①先遣調査隊・情報連絡調整担当水道事業体 ※2 - できるだけ現地に赴かず必要な情報収集等を行う - なお、被災水道事業体から情報発信や応援要請が出せない場合には、現地への派遣を行う - 現地での活動中は、基本的な感染予防対策を講ずる - 派遣前の検温、活動中の定期的な検温を実施する等、派遣職員の健康状態を確認する - 派遣前に発熱やせき等の症状が見られた職員は派遣しない ②情報収集・提供 - 被災都府県支部長等、被災地方支部長、日本水道協会救援本部は、被災地の感染者発生状況についても情報収集するよう努め、応援要請に当たって適宜情報提供を行う

応援水道事業体	①感染予防・健康管理 - 派遣予定の職員は、日常的な検温及び基本的な感染予防対策の徹底など、健康管理に留意する ②感染症対策に必要な物資・資材 ※1 - 感染症対策に必要な物資・資材については、自らが被災した場合を想定して平時からその確保に努めるとともに、他の被災地において応援活動を実施する際に転用ができるように検討しておく 例) マスク、フェイスシールド、手袋、消毒液、石けん、体温計、ビニール袋等 - 原則として、被災地やその周辺地域での物資・資材などの調達を行わない(現地の店舗での感染拡大の可能性を防ぐとともに、品薄な物について現地住民との競合を避けるため。ただし、現地の経済状況の回復具合などを考慮し適宜対応する)	①基本的な感染予防対策 - 派遣前の検温、活動中の定期的な検温を実施する等、派遣職員の健康状態を確認する - 派遣前に発熱やせき等の症状が見られた職員は派遣しない - 応援活動中は、こまめな手洗い(消毒液可)・うがい、咳エチケット、マスク着用等の基本的な感染予防対策を講ずる - 住民に接する活動は、状況に応じフェイスシールドを着用するなど、配慮する - 帰任後は、当面の間、定期的な検温を継続する等、健康管理に気を配る ②医療機関等の確認 - 感染が疑われる職員が生じた場合等に備え、受援水道事業体内の連絡窓口及び受診可能医療機関などを受援水道事業体に確認しておく ③活動の記録 - 活動に従事する職員は、自らの行動履歴等の記録を行い、感染した場合に保健所等からの要請により情報提供ができるようにしておく ④会議等の開催 - 会議等を行う際は、出席者を必要最少限とし、出席者間の間隔を広く保ち、必要以上の交錯がないように導線に留意する - 十分な換気を行い、人と人との接触の低減を図ることにより三密を避ける - 必要に応じて web 会議、電話、メール等を有効活用し、情報共有を行う ⑤車両の消毒等 - 要員交替の際など、車両共用部(運転席、ハンドル、ダッシュボード等)の消毒を行う - 他組織の車両などへの同乗はできるだけ避ける ⑥宿泊場所等 - 宿泊場所や執務スペースなどは、できる限り固定の拠点を確保する ⑦感染が疑われる場合 - 感染が疑われる派遣職員が生じた場合には、当該職員を個室や開放スペース等に隔離するとともに、管轄する保健所及び応援水道事業体・受援水道事業体に連絡し、対応の指示を仰ぐ - 濃厚接触者についても保健所の指示を仰ぐとともに、派遣職員の交代を検討する等、拡大防止を図る ⑧公務災害関係 - 罹患した場合、公務上の疾病の対象になるかは、補償実施機関(地方公務員災害補償基金)の判断となる - 活動に伴い罹患したことの因果関係を示すため、派遣職員の行動記録等が重要
----------------	---	---

※1 応援水道事業体が応援活動を実施するに当たり、感染症対策に必要な物資・資材などの確保のため特別に要した費用については、原則として受援水道事業体の負担とする。

※2 「地震等緊急時対応の手引き」(令和2年4月改訂)は令和2年8月1日から運用開始としているため、旧版(平成25年3月改訂)の名称を使用している。
このため、令和2年8月1日以降は「情報連絡調整担当水道事業体」は「現地調整隊」と読み替える。

資材（管類・継手類）の保有状況

東北地方支部 調査様式 1

令和〇年〇月〇日
〇〇県支部

[illegible]

[illegible][illegible][illegible]

[illegible][illegible]

東北地方支部 調査様式 4

※数量は応援可能数量とし、10単位・100単位で切り捨てを行う。

(2) ポリタンク

※数量は応援可能数量とし、10単位・100単位で切り捨てを行う。

-26-

東北地方支部 調査様式 5

※応援可能数量は10単位・100単位で切り捨てを行う。

[illegible]

事業体名						代表電話	
連絡担当課名						直通電話	
連絡担当	責任者	役職	氏名	電話番号	携帯電話	ファクス	
	補助者					電子メール	
	補助者					衛星携帯	
	補助者					公用携帯	

自走式 ローリー形給水車

⇒ 調査様式2(1)

車両番号	容量	加圧ポンプ最大揚程	最大吐出量	駆動/ギア	ナビ/スピーカ-	全長	車両総重量	注水口形状	燃料	備考

可搬式給水タンク（SUS、アルミ、FRPなどのハードタンク等）

⇒ 調査様式2(2)

容量	保有数	加圧ポンプ最大揚程	最大吐出量	材質	重量	注水口形状	備考			

給水タンクおよび資機材等運搬用車両
（上記可搬式・牽引式給水タンクを運搬する車両および仮設水槽や給水袋などを運搬するために使用できる車両）

⇒ 調査様式2(3)

車両番号	種別	駆動/ギア	ナビ/スピーカ-	積載重量	全長	車両総重量	燃料	備考		

可搬式仮設水槽

⇒ 調査様式3(1)

容量	種別	保有数	素材	架台	蛇口	重量	接続口形状	備考		

臨時給水用蛇口

⇒ 調査様式3(2)

蛇口数	保有数	接続口形状	備考							

応急給水袋：数量は10単位・100単位で切り捨てを行う。

⇒ 調査様式4(1)

容量	応援可能数量	備考								

ポリタンク：数量は10単位・100単位で切り捨てを行う。

⇒ 調査様式4(2)

容量	応援可能数量	備考								

備蓄水（災害時に提供可能なもの ペットボトル・水缶）：数量は10単位・100単位で切り捨てを行う。

⇒ 調査様式5(1)

容量	応援可能数量	備考								

応援要請書
(地方支部・各県支部用)

発信元		
要請種別	被災県支部 ⇒ 地方支部	
	地方支部 ⇒ 応援県支部	
	応援県支部 ⇒ 応援事業体	

日本水道協会東北地方支部災害時相互応援に関する協定に基づき、以下について応援を要請します。

応援先(被災事業体)		要請内容 (被災事業体からの要請数－被災県支部内手配数)					要請先(応援事業体)	
①県支部	②事業体名	応急給水		応急復旧		⑦その他	⑧県支部	⑨事業体名
		③加圧	④給水車 台数	⑤漏水 調査班	⑥修繕班			
計		加圧あり						
		加圧なし						
		小 計						
応援先情報		期間、特記事項、集合場所、経路及び進路状況については被災事業体から被災県支部あての応援要請書(別添の手引き様式5)のとおり						
その他備考・参考情報								

発信元の連絡先

被災 県支部	所属・職・氏名		電 話	-	-
	電子メール		衛星電話	-	-
			FAX	-	-
地方支部	所属・職・氏名		電 話	-	-
	電子メール		衛星電話	-	-
			FAX	-	-
応援 県支部	所属・職・氏名		電 話	-	-
	電子メール		衛星電話	-	-
			FAX	-	-

被災県支部名を記入

東北地方支部
に提出

被災県支部 ⇒ 地方支部
地方支部 ⇒ 応援県支部
応援県支部 ⇒ 応援事業体

[被災県支部⇒地方支部]を選択

日本水道協会東北地方支部災害時相互応援に関する協定に基づき、以下について応援を要請します。

応援先(被災事業体)		要請内容 (被災事業体からの要請数－被災県支部内手配数)					要請先(応援事業体)	
①県支部	②事業体名	応急給水		応急復旧		⑦その他	⑧県支部	⑨事業体名
		③加圧	④給水車 台数	⑤漏水 調査班	⑥修繕班			
〇〇県支部	A市	○	2台					
〇〇県支部	B市	○	10台					
〇〇県支部	C市	○	4台					
			2台					
								</

被災県支部の連絡担当者情報を記入

発信元の連絡先

被災 県支部	所属・職・氏名	〇〇市水道局 〇〇課 〇〇係長 ◇◇ ◇◇	電 話	xxx-xxx-xxxx
	電子メール	xxxxxxxxxx@xxxxxxxx.xxx.jp	衛星電話	- -
			FAX	xxx-xxx-xxxx
地方支部	所属・職・氏名		電 話	- -
	電子メール		衛星電話	- -
			FAX	- -
応援 県支部	所属・職・氏名		電 話	- -
	電子メール		衛星電話	- -
			FAX	- -

地方支部名を記入

応援要請書
(地方支部・各県支部用)

応援要請先の
県支部に提出

発信元	東北地方支部	
要請種別	被災県支部 ⇒ 東北地方支部	☐
	地方支部 ⇒ 応援県支部	
	応援県支部 ⇒ 応援事業体	

[地方支部⇒応援県支部]を選択

日本水道協会東北地方支部災害時相互応援に関する協定に基づき、以下について応援を要請します。

応援先(被災事業体)		要請内容 (被災事業体からの要請数－被災県支部内手配数)					要請先(応援事業体)	
①県支部	②事業体名	応急給水		応急復旧		⑦その他	⑧県支部	⑨事業体名
		③加圧	④給水車 台数	⑤漏水 調査班	⑥修繕班			
〇〇県支部	A市	○	2台				△△県支部	
〇〇県支部	B市	○	5台	必要に応じて複数の 県支部に配分調整			◇◇県支部	
		○	5台				◆◆県支部	
〇〇県支部	C市	○	4台				□□県支部	
			2台				□□県支部	
計		加圧あり	16台					
		加圧なし	2台					
		小 計	18台					
応援先情報		期間、特記事項、集合場所、経路及び進路状況については 被災事業体から被災県支部あての応援要請書(別添の手引き様式5)のとおり						
その他備考・参考情報		被災県支部から提出された 応援要請書【手引き様式5】を添付						

発信元の連絡先				
被災 県支部	所属・職・氏名	〇〇市水道局 〇〇課 〇〇係長 ◇◇ ◇◇	電 話	xxx-xxx-xxxx
	電子メール	xxxxxxxxxx@xxxxxxxx.xxx.jp	衛星電話	- -
			FAX	xxx-xxx-xxxx
地方支部	所属・職・氏名	仙台市水道局 総務課 研修係長 ◆◆ ◆◆	電 話	022-249-2302
	電子メール	nissuikyo-touhoku@yacht.ocn.ne.jp	衛星電話	090-5847-0330
			FAX	022-249-2006
応援 県支部	所属・職・氏名	地方支部の連絡担当者情報を記入	電 話	- -
	電子メール		衛星電話	- -
			FAX	- -

R4.3.7修正版

令和 ○年 ○月 ○日

応急復旧応援班 準備・活動状況

東北地方支部 応援様式2

①報告種別	②報告者	③報告番号	④報告日	⑤報告時間

番号	確認日時		応急復旧応援班				応援先			⑮活動状況	⑯活動予定期間	代表者			⑳備考
	⑥月日	⑦時刻	⑧地方支部	⑨都府県支部等	⑩事業体	⑪種別	⑫地方支部	⑬都府県支部等	⑭都市			⑰氏名	⑱連絡先電話番号	⑲連絡先メールアドレス	
1			02 東北				02 東北								
2			02 東北				02 東北								
3			02 東北				02 東北								
4			02 東北				02 東北								
5			02 東北				02 東北								
6			02 東北				02 東北								
7			02 東北				02 東北								
8			02 東北				02 東北								
9			02 東北				02 東北								
10			02 東北				02 東北								
11			02 東北				02 東北								
12			02 東北				02 東北								
13			02 東北				02 東北								
14			02 東北				02 東北								
15			02 東北				02 東北								
16			02 東北				02 東北								
17			02 東北				02 東北								
18			02 東北				02 東北								
19			02 東北				02 東北								
20			02 東北				02 東北								

応急復旧応援班 準備・活動状況

記入例

東北地方支部 応援様式2

①報告種別						②報告者			③報告番号		④報告日		⑤報告時間		
都府県支部長等⇒地方支部長						〇〇県支部			第2報		7月20日		10:30		
番号	確認日時		応急復旧応援班				応援先			⑮活動状況	⑯活動予定期間	代表者			⑳備考
	⑥月日	⑦時刻	⑧地方支部	⑨都府県支部等	⑩事業体	⑪種別	⑫地方支部	⑬都府県支部等	⑭都市			⑰氏名	⑱連絡先電話番号	⑲連絡先メールアドレス	
1	7/18	18:00	02 東北	青森県	青森県	総括班	02 東北	宮城県	〇〇市	活動中	7/18~未定	〇〇 〇〇	090-xxxx-xxxx	bcd-01@docomo.ne.jp	
2	7/20	9:00	02 東北	青森県	青森県	通水・漏水調査班	02 東北	宮城県	〇〇市	出動準備中	7/20~未定	〇〇 〇〇	090-xxxx-xxxx	bcd-02@docomo.ne.jp	到着予定:20日15時
3	7/19	18:00	02 東北	秋田県	秋田県	総括班	02 東北	宮城県	〇〇市	活動中	7/19~7/26	〇〇 〇〇	090-xxxx-xxxx	bcd-03@docomo.ne.jp	
4	7/20	10:00	02 東北	秋田県	秋田県	修理班	02 東北	宮城県	〇〇市	出動準備中	7/20~7/26	〇〇 〇〇	090-xxxx-xxxx	bcd-04@docomo.ne.jp	到着予定:20日10時
5			02 東北				02 東北								
6							02 東北								
7							02 東北								
8			02 東北				02 東北								
9			02												
10			02												
11			02												
12			02 東北				02 東北								
13			02 東北				02 東北								
14			02 東北				02 東北								
15							02 東北								
16							02 東北								
17							02 東北								
18			02 東北				02 東北								
19			02 東北				02 東北								
20			02 東北				02 東北								

1班毎に1行で入力。

「青森県」「秋田県」「岩手県」「山形県」「宮城県」「福島県」から選択。

応援先事業体の情報を記入。

各車両の代表者の情報を記入。
⑱⑲は応援先で連絡可能な連絡先を記入。

応援班の情報を1班1行で記入。
[⑪種別]は「総括班」「通水・漏水調査班」「修理班」「その他」から選択。
「その他」の詳細は[⑳備考]に記入のこと。
「通水・漏水調査班」と「修理班」を明確に区別できない場合は「通水・漏水調査班」を選択。

以下から選択。
「出動準備中」: 応援元事業体における出動前の準備段階。
「参集移動中」: 応援元事業体から応援先への移動中。
「活動中」: 応援先で応援活動中。応援先での待機中も含む。
「帰任移動中」: 応援先事業体から応援元への移動中。
「活動終了」: 応援元事業体への帰任完了。
自由記載も可能。

「応援水道事業体⇒都府県支部長等」
「都府県支部長等⇒地方支部長」
「地方支部長⇒本部」 から選択。
手書きなど入力作業が煩雑な場合は空欄で可。

年 月 日

応援活動に関する（報告・通知）書

さま

日本水道協会〇〇支部長

〇 〇 〇 〇

応援活動について以下のとおり（報告・通知）します。

1. 内容

2. 連絡担当者

連絡担当責任者	職 氏名：		
	電話 - -	FAX	- -
連絡担当責任者補助者	職 氏名：		
	電話 - -	FAX	- -
そ の 他 連 絡 手 段	電子メール： 衛星携帯電話等：		

(注) 会員事業体から県支部長、県支部長から地方支部長への報告に使用するときは、件名を「報告書」に書き換える。
 地方支部長から県支部長、県支部長から会員事業体への通知に使用するときは、件名を「通知書」に書き換える。

令和〇年〇月〇日

応援活動に関する報告書

日本水道協会東北地方支部長 あて

日本水道協会〇〇県支部長
〇〇 〇〇

応援活動について以下のとおり報告します。

1. 内容

当県支部内の会員事業体より、以下のとおり報告があった（〇月〇日 〇時〇分）。

- ・〇月〇日 〇時〇分より、〇〇市の応急給水班（全〇班）のうち△班の応援活動を終了させることが可能である。
- ・〇月〇日 〇時〇分より、□□市の応急給水班（全△班）のうち×班の応援活動を終了させることが可能である。

2. 連絡担当者

連絡担当責任者	職 氏名：〇〇県支部事務局 ◇◇水道局▽▽課◆◆係長 〇〇 〇〇	
	電話 ***-***-****	FAX ***-***-****
連絡担当責任者補助者	職 氏名：〇〇県支部事務局 ◇◇水道局▽▽課◆◆係 □□ □□	
	電話 ***-***-****	FAX ***-***-****
その他 連絡手段	電子メール：xxx.xxxx@xxxx.xxxx.city.jp 衛星携帯電話等：***-***-****	

(注) 会員事業体から県支部長、県支部長から地方支部長への報告に使用するときは、件名を「報告書」に書き換える。
地方支部長から県支部長、県支部長から会員事業体への通知に使用するときは、件名を「通知書」に書き換える。

令和〇年〇月〇日

応援活動に関する通知書

日本水道協会〇〇県支部長 さま

日本水道協会東北地方支部長
仙台市長 〇〇 〇〇

応援活動について以下のとおり通知します。

1. 内容

・〇〇市で活動していた◇◇市の応急給水班（全〇班）のうち〇班の応援活動を、〇月〇日 〇時〇分に終了する。

2. 連絡担当者

連絡担当責任者	職 氏名：東北地方支部事務局 仙台市水道局▽▽課◆◆係長 〇〇 〇〇	
	電話 022-249-2302	FAX 022-249-2006
連絡担当責任者補助者	職 氏名：東北地方支部事務局 仙台市水道局▽▽課◆◆係 □□ □□	
	電話 022-249-2302	FAX 022-249-2006
その他 連絡手段	電子メール：nissuikyo-touhoku@yacht.ocn.ne.jp 衛星携帯電話等：090-5847-0330	

(注) 会員事業体から県支部長、県支部長から地方支部長への報告に使用するときは、件名を「報告書」に書き換える。
地方支部長から県支部長、県支部長から会員事業体への通知に使用するときは、件名を「通知書」に書き換える。

被害・応援要請情報

報告種別	報告者	報告番号	報告日	報告時間

1. 基礎情報				2. 被害情報						3. 対応状況											
都道府県	①確認状況	②確認日時	③事業者名	④被害発生地区名	⑤被害発生状況・原因	⑥最大断水戸数	⑦家屋等損壊地域における戸数	⑧断水発生日時	⑨今後の断水の発生・拡大見込み	⑩現在断水状況		⑪応急給水			⑫応急復旧			⑬復旧見込み	⑭課題	⑮減水状況 (時間給水等)	⑯断減水 解消日時
										復旧戸数	未復旧戸数	応急給水状況 (給水車対応、飲料水の配給等)	応援要請状況	要請先と応援状況	応急復旧状況 (系統変更、復旧工事等)	応援要請状況	要請先と応援状況				
合計	－		－	－	－	0	0	－	－	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※本様式中【1. 基礎情報】～【3. 対応状況】は、厚生労働省が所定する報告様式に準じている（令和2年2月27日付け薬生水発0227第2号「自然災害発生時における被害状況の報告様式の改訂について」）。

このため、被災水道事業者は、本様式をもって都道府県水道行政担当部に報告することができる。

なお、これらの記載方法については、同通知を参照。

被害・応援要請情報

報告種別

1. 基礎情報				【新規・追加応援(日水協)】									
都道府県	①確認状況	②確認日時	③事業者名	⑦給水車応援要請		応援可能台数							
				合計台数	うち要加圧台数	都府県支部長記入欄		地方支部長記入欄		救援本部記入欄		合計	
						計	うち加圧	計	うち加圧	計	うち加圧	計	うち加圧
合計	—		—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

災害時の情報共有は正確性だけでなくスピード感も重要となります(とくに初動)。本様式による報告は、すべての項目を埋めることが必須ではありません。その時点で把握している情報を記載の上、報告をお願いいたします。

[illegible]

3/4
-40-

被害・応援要請情報

報告種別
都府県支部長等⇒地方支部長

[illegible]

令和 年 月 日

先遣調査隊の派遣について

各 位

支部

次のとおり派遣を決定したので、ご連絡いたします。

派遣先 (被災水道事業体)			
派遣期間	令和	年	月 日 ～ 当面の間
業務内容	被害状況の調査及び応援受入体制の確立に係る調整支援		
応援水道事業体			
人員	名		
役職・氏名			
連絡方法	電話番号	—	—
	携帯	—	—
備考			

令和 ◎ 年 ○ 月 ● 日

先遣調査隊の派遣について

各 位

○○○○○ 支部

次のとおり派遣を決定したので、ご連絡いたします。

派遣先 (被災水道事業体)	○○ 市				
派遣期間	令和 ◎ 年 ○ 月 ● 日 ～ 当面の間				
業務内容	被害状況の調査及び応援受入体制の確立に係る調整支援				
応援水道事業体	○○市水道局				
人員	3 名				
役職・氏名	xx課xx係 係長	水道 次郎			
	xx課xx係 主任	水道 三郎			
	xx課xx係 技師	水道 四郎			
連絡方法	電話番号	***	—	***	— ****
	携帯	***	—	****	— ****
備考					

第	報	年 月 日 時 分
---	---	-----------

應援要請書

発信元		発信者	
災害発生年月日	令和 年 月 日 時 分		
災 害 状 況			

要 請 内 容			
	応急給水 給水車 台 (うち加圧 台)	応急復旧 班 班 総 括 班 漏水調査 班 修 繕 班	
期 間 (月 日 ~ 月 日)	~	~	
特 記 事 項	仮設水槽 要 ・ 否 要請数(台)	仮設給水栓 要 ・ 否 要請数(栓)	給水袋 要 ・ 否 要請数(袋)
集 合 場 所			
経 路 及 び 進 路 状 況			
備 考			

〇市

第

1

報

令和◎年7月1日 □時■分

応 援 要 請 書

発信元	△△県 〇市水道局	発信者	xx課 xx xx
災害発生年月日	令和 ◎ 年 7 月 1 日 8 時 30 分		
災 害 状 況	●●を震源とする地震発生。市内広域断水発生。		

要 請 内 容			
	応急給水 給水車 10 台 (うち加圧 2 台)	応急復旧 応急復旧班 班 総 括 班 漏水調査 班 修 繕 班	内訳 ※班体制を指定する場合は記載
期 間 (月 日～月 日)	7月2日 ～ 7月5日	～	
資 機 材 等	仮設水槽 要 ・ 否 要請数(台)	仮設給水栓 要 ・ 否 要請数(栓)	給水袋 要 ・ 否 要請数(袋)
特 記 事 項	物資(給水袋)、資機材、車両等を記入 ※1 給水車の要請に当たっては、車両の大きさ(制限があれば)・仮設水槽・給水袋等必要な情報を記載 ※2 技術系職員の要請に当たっては、応援希望職種(土木職、設備職、化学職等)等を必要な情報を記載		
集 合 場 所	集合場所は、応援派遣決定後、応援部隊ごとに決定します。		
経 路 及 び 進 路 状 況	県道〇号線進入規制あり(緊急通行車両標章が必要)		
備 考	【使用例】 ※集合場所は、応援派遣決定後、応援部隊ごとに決定します。 <u>応援決定の連絡は、防災担当(危機管理統括担当) xxまでお願いします。</u> 電話 ***-***-**** FAX ***-***-**** Eメール; aaaaa@aaaa.aaa.city.jp		

給水車準備・活動状況

地震等緊急時対応の手引き 様式6

【東北地方支部給水車データベース連動版】

R4. 3. 28修正版

①報告種別	②報告者	③報告番号	④報告日	⑤報告時間
都府県支部長等⇒地方支部長				

確認日時			給水車									応援先			⑳活動状況	㉑活動 予定期間	搭乗者（代表）					㉒備考
番号	⑥ 月日	⑦ 時刻	⑧ 地方 支部	⑨ 都府県 支部等	⑩ 所有 事業体	車両情報					㉓ 地方 支部	㉔ 都府県 支部等	㉕ 都市	㉖ 事業体名			㉗ 氏名	㉘ 連絡先 電話番号	㉙ 連絡先 メールアドレス			
						⑪ 車両 登録番号	⑫ タンク 容量	⑬ 加圧	参考情報（省略可）													
						⑭ 最大 揚程	⑮ 吐出量	⑯ 注水口 形式														
1																						
2																						
3																						
4																						
5																						
6																						
7																						
8																						
9																						
10																						
11																						
12																						
13																						
14																						
15																						
16																						
17																						
18																						
19																						
20																						

【東北地方支部におけるカスタマイズ】

入力欄に①～⑫の付番をした。

入力欄を色分けした。（選択入力：薄緑，自動入力：水色，数式を消したセル；クリーム色）

⑨：東北6県から選択可能とした。

⑩～⑪：自走式ローリー型給水車のデータベース(調査票-2)から選択可能とした。[調査票2]シートは削除しないこと。直接入力も可。可搬式給水タンクの場合は直接入力のこと。

⑫～⑯：自走式ローリー型給水車のデータベースから自動表示とした。データベースにない給水車や可搬式給水タンク，自動表示に誤りがある場合は数式を消して直接入力のこと。

給水車準備・活動状況

記入例・解説

地震等緊急時対応の手引き 様式6
【東北地方支部給水車データベース連動版】
R4. 3. 28修正版

①報告種別	②報告者	③報告番号	④報告日	⑤報告時間
都府県支部長等⇒地方支部長	〇〇県支部	第2報	7月20日	10:30

番号	確認日時		⑧ 地方 支部	⑨ 都府県 支部等	⑩ 所有 事業体	給水車						応援先			⑳ 活動状況	㉑ 活動 予定期間	搭乗者(代表)				㉖ 備考
	⑥ 月日	⑦ 時刻				⑪ 車両 登録番号	⑫ タンク 容量	⑬ 加圧	車両情報			⑰ 地方 支部	⑱ 都府県 支部等	⑲ 都市			㉒ 事業体名	㉓ 氏名	㉔ 連絡先 電話番号	㉕ 連絡先 メールアドレス	
									⑭ 最大 揚程	⑮ 吐出量	⑯ 注水口 形式										
1	7/18	18:00	02 東北	青森県	青森市企業局水道部	青森800 す4055	3.0m³	有	3m	25m³/h	町野オス(65)	02 東北	宮城県	〇〇市	活動中	7/18～ 未定	青森市企業局 水道部	〇〇 〇〇	090-xxxx-xxxx	bcd-01@docomo.ne.jp	
2	7/20	9:00	02 東北	青森県	八戸圏域水道企業団	4229	2.0m³	有	2m	20m³/h	町野オス(65)	02 東北	宮城県	〇〇市	出動準備中	7/20～ 未定	八戸圏域水道 企業団	〇〇 〇〇	090-xxxx-xxxx	bcd-02@docomo.ne.jp	到着予定:20日15時
3	7/19	18:00	02 東北	秋田県	秋田市上下水道局	692	2.0m³	有	2m	25m³/h	町野オス(65)	02 東北	宮城県	〇〇市	活動中	7/19～ 7/26	秋田市上下水 道局	〇〇 〇〇	090-xxxx-xxxx	bcd-03@docomo.ne.jp	
4	7/20	10:00	02 東北	秋田県	由利本荘市	秋田800 す2038	3.0m³	有	3m	25m³/h	町野オス(65)	02 東北	宮城県	〇〇市	出動準備中	7/20～ 7/26	由利本荘市	〇〇 〇〇	090-xxxx-xxxx	bcd-04@docomo.ne.jp	到着予定:20日10時
5			02 東北									02 東北									
6			02 東北									02 東北									
7			02 東北									02 東北									
8			02 東北									02 東北									
9			02 東北									02 東北									
10			02 東北									02 東北									
11			02 東北									02 東北									
12			02 東北									02 東北									
13			02 東北									02 東北									
14			02 東北									02 東北									
15			02 東北									02 東北									
16			02 東北									02 東北									
17			02 東北									02 東北									
18			02 東北									02 東北									
19			02 東北									02 東北									
20			02 東北									02 東北									

「青森県」「秋田県」「岩手県」「山形県」「宮城県」「福島県」から選択。

「⑨都府県支部等」を入力すると、給水車DB(調査票2)に登録されているその県支部内の事業体から選択可能になります。

「⑩所有事業体」を入力すると、給水車DB(調査票2)に登録されているその事業体内の自走式給水車から選択可能になります。可搬式給水タンクや給水車DBにない車両の場合は直接入力してください。

「⑪車両登録番号」を入力すると、給水車DB(調査票2)に登録されている内容が自動入力されます。
「⑬加圧」は「⑭最大揚程」が数値の時に「有」になります。
可搬式給水タンクや給水車DBにない車両の場合のほか、自動入力の内容に誤りがある場合は、数式を消して直接入力してください。

「応援水道事業体⇒都府県支部長等」「都府県支部長等⇒地方支部長」「地方支部長⇒本部」から選択。

応援先事業体の情報を記入。

各車両の代表者の情報を記入。
㉔㉕は応援先で連絡可能な連絡先を記入。

以下から選択。
「出動準備中」: 応援元事業体における出動前の準備段階。
「出動中止」: 出動準備中であつたが、応援活動の早期終了等により出動しなかった場合。
「参集移動中」: 応援元事業体から応援先への移動中。
「活動中」: 応援先で応援活動中。応援先での待機中も含む。
「帰任移動中」: 応援先事業体から応援元への移動中。
「活動終了」: 応援元事業体への帰任完了。
自由記載も可能。

【東北地方支部におけるカスタマイズ】

入力欄に①～㉔の付番をした。 入力欄を色分けした。(選択入力:薄緑, 自動入力:水色, 数式を消したセル;クリーム色) ㉔:東北6県から選択可能とした。
⑩～⑪:自走式ローリー型給水車のデータベース(調査票-2)から選択可能とした。[調査票2]シートは削除しないこと。直接入力も可。可搬式給水タンクの場合は直接入力のこと。
⑫～⑯:自走式ローリー型給水車のデータベースから自動表示とした。データベースにない給水車や可搬式給水タンク, 自動表示に誤りがある場合は数式を消して直接入力のこと。

給水車準備・活動状況

地震等緊急時対応の手引き 様式6
【手入力用】

①報告種別	②報告者	③報告番号	④報告日	⑤報告時間

番号	確認日時		給水車									応援先			⑳活動状況	㉑活動予定期間	搭乗者(代表)				㉔備考
	⑥月日	⑦時刻	⑧地方支部	⑨都府県支部等	⑩所有事業体	車両情報						⑰地方支部	⑱都府県支部等	⑲都市			㉒事業体名	㉓氏名	㉕連絡先電話番号	㉖連絡先メールアドレス	
						⑪車両登録番号	⑫タンク容量	⑬加圧	参考情報(省略可)												
									⑭最大揚程	⑮吐出量	⑯注水口形式										
1			02 東北									02 東北									
2			02 東北									02 東北									
3			02 東北									02 東北									
4			02 東北									02 東北									
5			02 東北									02 東北									
6			02 東北									02 東北									
7			02 東北									02 東北									
8			02 東北									02 東北									
9			02 東北									02 東北									
10			02 東北									02 東北									
11			02 東北									02 東北									
12			02 東北									02 東北									
13			02 東北									02 東北									
14			02 東北									02 東北									
15			02 東北									02 東北									
16			02 東北									02 東北									
17			02 東北									02 東北									
18			02 東北									02 東北									
19			02 東北									02 東北									
20			02 東北									02 東北									

【東北地方支部におけるカスタマイズ】
入力欄に①～㉔の付番をした。 入力欄を色分けした。(選択入力:薄緑) ㉑:東北6県から選択可能とした。

給水車準備・活動状況

記入例

地震等緊急時対応の手引き 様式6

【手入力用】

①報告種別	②報告者	③報告番号	④報告日	⑤報告時間
都府県支部長等⇒地方支部長	〇〇県支部	第2報	7月20日	10:30

番号	確認日時		給水車									応援先			⑳活動状況	㉑活動予定期間	搭乗者(代表)				㉒備考
	⑥月日	⑦時刻	⑧地方支部	⑨都府県支部等	⑩所有事業体	車両情報					⑰地方支部	⑱都府県支部等	⑲都市	㉓事業体名			㉔氏名	㉕連絡先電話番号	㉖連絡先メールアドレス		
						⑪車両登録番号	⑫タンク容量	⑬加圧	参考情報(省略可)												
						⑭最大揚程	⑮吐出量	⑯注水口形式													
1	7/18	18:00	02 東北	青森県	青森市企業局水道部	青森800す4055	3.0㎡	有	3m	25㎡/h	町野オス(65)	02 東北	宮城県	〇〇市	活動中	7/18～未定	青森市企業局水道部	〇〇 〇〇	090-xxxx-xxxx	bcd-01@docomo.ne.jp	
2	7/20	9:00	02 東北	青森県	八戸圏域水道企業団	4229	2.0㎡	有	2m	20㎡/h	町野オス(65)	02 東北	宮城県	〇〇市	出動準備中	7/20～未定	八戸圏域水道企業団	〇〇 〇〇	090-xxxx-xxxx	bcd-02@docomo.ne.jp	到着予定:20日15時
3	7/19	18:00	02 東北	秋田県	秋田市上下水道局	692	2.0㎡	有	2m	25㎡/h	町野オス(65)	02 東北	宮城県	〇〇市	活動中	7/19～7/26	秋田市上下水道局	〇〇 〇〇	090-xxxx-xxxx	bcd-03@docomo.ne.jp	
4	7/20	10:00	02 東北	秋田県	由利本荘市	秋田800す2038	3.0㎡	有	3m	25㎡/h	町野オス(65)	02 東北	宮城県	〇〇市	出動準備中	7/20～7/26	由利本荘市	〇〇 〇〇	090-xxxx-xxxx	bcd-04@docomo.ne.jp	到着予定:20日10時
5			02 東北									02 東北									
6												02 東北									
7												02 東北									
8			02 東北									02 東北									
9			02 東北									02 東北									
10			02 東北									02 東北									
11			02 東北									02 東北									
12			02 東北									02 東北									
13			02 東北									02 東北									
14			02 東北									02 東北									
15												02 東北									
16												02 東北									
17												02 東北									
18			02 東北									02 東北									
19			02 東北									02 東北									
20			02 東北									02 東北									

給水車1台毎に1行で入力。

「青森県」「秋田県」「岩手県」「山形県」「宮城県」「福島県」から選択。

給水車の所属事業体名を記入

給水車の車両番号を記入。
下4桁のみでも可。

タンク容量及び加圧ポンプの有無を記入。
参考情報は可能な範囲で記入(省略可)。

「応援水道事業体⇒都府県支部長等」「都府県支部長等⇒地方支部長」「地方支部長⇒本部」から選択。
手書きの場合など入力作業が煩雑な場合は空欄で可。

応援先事業体の情報を記入。

各車両の代表者の情報を記入。
㉔㉕は応援先で連絡可能な連絡先を記入。

以下から選択。
「出動準備中」: 応援元事業体における出動前の準備段階。
「参集移動中」: 応援元事業体から応援先への移動中。
「活動中」: 応援先で応援活動中。応援先での待機中も含む。
「帰任移動中」: 応援先事業体から応援元への移動中。
「活動終了」: 応援元事業体への帰任完了。
自由記載も可能。

手引き様式6には「給水車データベース連動版」と「手入力用」があり、この様式は「手入力用」になります。
この様式は「給水車データベース連動版」が使用できないときに使用してください。

【東北地方支部におけるカスタマイズ】

入力欄に①～㉒の付番をした。

入力欄を色分けした。(選択入力:薄緑)

⑨:東北6県から選択可能とした。

応急復旧班 現地活動状況

地震等緊急時対応の手引き 様式7

報告種別	報告者	報告日	活動日

班番号	地方支部	都府県支部	事業体名	応援先	事業体				工事事業者			備考
					総括(人)	管路(人)	設備(人)	その他(人)	種別※	業者数(社)	人数(人)	
計					0				0			

※工事事業者の種別
 地元:派遣先の地元工事事業者
 県内:派遣先県内の工事事業者
 随行:派遣元事業体から随行している工事事業者

応急復旧班 現地活動状況

地震等緊急時対応の手引き 様式7

報告種別	報告者	報告日	活動日
都府県支部長等⇒地方支部長	〇〇県支部	4月1日	3月31日

班番号	地方支部	都府県支部	事業体名	応援先	事業体				工事事業者			備考
					総括(人)	管路(人)	設備(人)	その他(人)	種別※	業者数(社)	人数(人)	
1	02 東北	〇〇県	〇〇市	〇〇町	3	2			随行	1	4	次回4/2職員入替予定
2	02 東北	〇〇県	△△町	〇〇町		2			地元	1	4	3/27～4/2活動予定, 4/3〇〇市へ引継ぎ
3	02 東北	××県	××市	□□町			4					
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
計					0				8			

※工事事業者の種別
 地元:派遣先の地元工事事業者
 県内:派遣先県内の工事事業者
 随行:派遣元事業体から随行している工事事業者

中継水道事業体使用可能施設報告書

都府県等支部名：
年 月 日： 現在

	使用 可・不可	会員名	施 設 名	住 所	アクセス		駐車場 2t給水車 駐車可能 台数	施 設 概 要						連 絡 先	
					最寄りの 高速道路IC	高速道路等IC からの距離		休憩場所 の広さ(m ²)	部屋の床 の材質	非常用電源 設備の有無	風呂・ シャワー の有無	寝具類 の有無	備 考	会員担当者 (所属・氏名・電話番号)	中継地対応者 (所属・氏名・電話番号)
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

中 継 水 道 事 業 体 使 用 可 能 施 設 報 告 書

都府県等支部名:〇〇県支部
令和2年7月31日 10:00 現在

	使用 可・不可	会員名	施 設 名	住 所	アクセス		駐車場 2t給水車 駐車可能 台数	施 設 概 要						連 絡 先	
					最寄りの 高速道路IC	高速道路等IC からの距離		休憩場所 の広さ(㎡)	部屋の床 の材質	非常用電源 設備の有無	風呂・ シャワー の有無	寝具類 の有無	備 考	会員担当者 (所属・氏名・電話番号)	中継地対応者 (所属・氏名・電話番号)
1		A市	A市水道局●●庁舎	A市●●区XXXX*-*-*	東北道 * * IC(上下と も)	5.5km	55台	347㎡	繊維床	有	有 (風呂・シャ ワー)	有	受入可能人数 110人	A市水度局XX課XX係 〇〇 〇〇 * * * - * * * - * * * *	A市水度局XX課XX係 〇〇 〇〇 * * * - * * * - * * * *
2		A市	A市水道局△△庁舎	A市△▼区XXXX*-*-*	東北道 * * IC(上下と も)	1.2km	50台	254㎡	繊維床畳Pタイル	有	有 (風呂・シャ ワー)	有	受入可能人数 83 人 ・休憩場所は第二 本館 ・日中の駐車につ いては、大型車両 通行等により、車 両の移動が必要な 場合がある。	A市水度局XX課XX係 〇〇 〇〇 * * * - * * * - * * * *	A市水度局XX課XX係 〇● 〇● * * * - * * * - * * * *
3		A市	▽▽浄水場	A市▽▼区XXXX*-*-*	東北道 * * IC(上下と も)	11km	80台	480㎡	繊維床畳	有	有 (風呂・シャ ワー)	有	受入可能人数 160人	A市水度局XX課XX係 〇〇 〇〇 * * * - * * * - * * * *	A市水度局XX課XX係 ●● ●● * * * - * * * - * * * *
4		B市	B市水道局□□庁舎	B市□□区XXXX*-*-*	東北道 * * IC(上り) * * IC(下り)	4.3km	70台	424㎡	繊維床	有	有 (風呂・シャ ワー)	有	・受入可能人数 141人 ・休憩場所は第一 高度棟 ・日中の駐車につ いては、大型車両 通行等により、車 両の移動が必要な 場合がある。	B市水度局XX課XX係 □□ □□ * * * - * * * - * * * *	B市水度局XX課XX係 □□ □□ * * * - * * * - * * * *
5		B市	■■浄水場	B市■ ■ * - * - *	東北道 * * IC(上下と も)	1.5km	50台	311㎡	Pタイル	有	有 (風呂・シャ ワー)	有	受入可能人数 102人 ・休憩場所は本館 ・日中の駐車につ いては、大型車両 通行等により、車 両の移動が必要な 場合がある。	B市水度局XX課XX係 □□ □□ * * * - * * * - * * * *	B市水度局XX課XX係 □■ □■ * * * - * * * - * * * *
6		C市	◇◇浄水場	C市◇◇* - * - *	常磐道 * * IC(上下と も)	3.1km	25台	144㎡	Pタイル	有	有 (風呂・シャ ワー)	有	受入可能人数 47 人 ・休憩場所は本館 ・日中の駐車につ いては、大型車両 通行等により、車 両の移動が必要な 場合がある。	C市水度局XX課XX係 ◇◇ ◇◇ * * * - * * * - * * * *	C市水度局XX課XX係 ◆◆ ◆◆ * * * - * * * - * * * *
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

支部長 第

報

年 月 日 時 分

〇〇県支援拠点水道事業体の(設置・変更)について

各 位

次のとおり決定したので、ご連絡いたします。

支援拠点 事業体名	
支援先被災 事業体名	

【連絡先】

調整担当			
E-Mail			
電話 番号	日中:		
	夜間:		
FAX番号			

【支援概要】

給水車への給水基地の提供			
施設名			
住 所			
電話番号			
FAX番号			
備 考			
宿泊場所確保の補助			
物資()の調達			
情報連絡の補助			

【備考】

--

支援拠点水道事業体の決定者を記載。決定者は被災県支部長を基本とし、他の県支部の事業体を支援拠点とする場合は地方支部長、他の地方支部の事業体を支援拠点とする場合は日本水道協会救援本部となる。

〇〇県支部長 第

1

報

令和●年●月●日 ●時●分

〇〇県支援拠点水道事業体の(設置・変更)について

各位

次のとおり決定したので、ご連絡いたします。

支援先事業体が多数に及ぶ場合など、
具体名の記載が難しい場合は、
「令和●年●月●日に発生した地震
による被災事業体」等と記載する。

支援拠点 事業体名	△△市水道局
支援先被災 事業体名	◇◇市水道局、◆◆水道局、▽▽水道局 上記のほか、令和●年●月●日に発生した地震による被災事業体を含む

【連絡先】

調整担当	△△市水道局 ◆◇課 ☆☆ 係 □□ □□
E-Mail	xxx.xxx@xxxx.xxx.city.jp
電話 番号	日中: ***-***-****
	夜間: ***-***-****
FAX番号	***-***-****

この様式は、一つの支援拠点水道事業体毎に1枚
作成する。
複数の支援拠点水道事業体が設置される場合は、
一覧表(自由様式)を別途作成し、この様式に
添付する。

【支援概要】

○ 給水車への給水基地の提供				
施設名	▲▲浄水場	▽▲浄水場	◆◇浄水場	
住所	△△市□□町◆◆ ***-*	△△市◆□町△▽△ ***-*	△△市▽◇町***-*	
電話番号	***-***-****	***-***-****	***-***-****	
FAX番号	***-***-****	***-***-****	***-***-****	
備考				給水基地が4箇所以上になるときは 一覧表(自由様式)を添付する。
○ 宿泊場所確保の補助				
○ 物資(▽▽▽▽、◆◆◆◆)の調達				
× 情報連絡の補助				

【備考】

--

第	報	年	月	日
---	---	---	---	---

水道給水対策本部の(設置・変更)について

下記のとおり、水道給水対策本部を（設置・変更）しましたのでお知らせします。

名 称： 水道給水対策本部

設置日時： 令和 年 月 日 時 分

設置場所：

【組織】

[水道給水対策本部長]

・水道給水対策本部の活動における意思決定

[統括指揮担当]

Tel:
mail:
Fax:
担当:

- ・日本水道協会救援本部との連絡調整
- ・一般行政部局の災害対策本部との窓口調整
- ・被害状況の把握と応援要請内容の確認
- ・各関係機関による応援活動の全体調整
- ・関係団体(水団連・全管連等)との連絡調整

[応急給水指揮担当]

Tel:
mail:
Fax:
担当:

- ・断水、通水状況及び応急給水活動状況等に関する情報の集約と応援要請の確認
- ・応急給水計画の作成
- ・応急給水隊の設置
- ・応急給水隊の指揮命令
- ・応急給水活動に必要な情報の収集と伝達
- ・自衛隊及び民間団体等との連絡調整
- ・応急給水活動に必要な資機材等の調達

[応急復旧指揮担当]

Tel:
mail:
Fax:
担当:

- ・基幹施設の被害状況及び応急復旧活動状況等に関する情報の収集と応援要請の確認
- ・応急復旧計画の作成
- ・応急復旧隊の設置
- ・応急復旧隊の指揮命令
- ・応急復旧活動に必要な情報の収集と伝達
- ・応急復旧活動に必要な資機材等の調達

[総務担当]

Tel:
mail:
Fax:
担当:

- ・住民等への広報業務
- ・応援水道事業体の宿舍等の手配に関する補助
- ・応援車両の駐車場所の確保や諸手続き等に関する補助
- ・ボランティアグループ等への連絡調整に関する補助
- ・その他応援活動を支援するために必要な活動

【備考】

〇〇市 第 1 報

令和〇年〇月〇日

水道給水対策本部の(設置・変更)について

下記のとおり、水道給水対策本部を（設置・変更）しましたのでお知らせします。

名 称： 〇〇地震●●市水道給水対策本部

設置日時： 令和 〇 年 〇 月 〇 日 〇 時 〇 分

設置場所： 〇〇県〇〇市〇〇1-1-1 〇〇市庁舎〇階 水道局内

【組織】

[水道給水対策本部長]

水道事業管理者

・水道給水対策本部の活動における意思決定

[統括指揮担当]

総務部長

Tel: **-****-****
mail: soumu@***.*.jp
Fax: **-****-****
担当: 総務課 〇〇・〇〇

- ・日本水道協会救援本部との連絡調整
- ・一般行政部局の災害対策本部との窓口調整
- ・被害状況の把握と応援要請内容の確認
- ・各関係機関による応援活動の全体調整
- ・関係団体(水団連・全管連等)との連絡調整

[応急給水指揮担当]

総務課長

Tel: **-****-****
mail: ****@***.*.jp
Fax: **-****-****
担当: 給水課 〇〇・〇〇

- ・断水、通水状況及び応急給水活動状況等に関する情報の集約と応援要請の確認
- ・応急給水計画の作成
- ・応急給水隊の設置
- ・応急給水隊の指揮命令
- ・応急給水活動に必要な情報の収集と伝達
- ・自衛隊及び民間団体等との連絡調整
- ・応急給水活動に必要な資機材等の調達

[応急復旧指揮担当]

工務部長

Tel: **-****-****
mail: ****@***.*.jp
Fax: **-****-****
担当: 工事課 〇〇・〇〇

- ・基幹施設の被害状況及び応急復旧活動状況等に関する情報の収集と応援要請の確認
- ・応急復旧計画の作成
- ・応急復旧隊の設置
- ・応急復旧隊の指揮命令
- ・応急復旧活動に必要な情報の収集と伝達
- ・応急復旧活動に必要な資機材等の調達

[総務担当]

総務係長

Tel: **-****-****
mail: ****@***.*.jp
Fax: **-****-****
担当: 総務課 〇〇・〇〇

- ・住民等への広報業務
- ・応援水道事業体の宿舍等の手配に関する補助
- ・応援車両の駐車場所の確保や諸手続き等に関する補助
- ・ボランティアグループ等への連絡調整に関する補助
- ・その他応援活動を支援するために必要な活動

【備考】

応急給水応援体制報告書

作成日	年 月 日	派遣期間	月 日() ~ 月 日()
-----	-------	------	-----------------

記入上の 留意事項	・ 応援班到着時、応援班構成変更時に作成し、 現地の水道給水対策本部に提出
--------------	--

○応援班連絡先

事業体名		応急給水班数	班
責任者	氏 名 : 連絡先電話 :	車両総数	台
事務担当者	氏 名 :		
給水要員	氏 名 :		
給水要員	氏 名 :		
給水要員	氏 名 :		
	氏 名 :		

○応援班構成

人 員	給水用具	車両台数 (タンク容量)	備 考
人			
人			
人			
人			
合 計			
人			

応急給水応援体制報告書

作成日	令和●年◎月○日	派遣期間	◎月○日(◇)～◎月△日(◆)
-----	----------	------	-----------------

記入上の 留意事項	・ 応援班到着時、応援班構成変更時に作成し、 現地の水道給水対策本部に提出
--------------	--

○応援班連絡先

事業体名	〇〇市水道局	応急給水班数	1 班
責任者	氏 名：水道 太郎 連絡先電話：090-****-****	車両総数	2 台
事務担当者	氏 名：水道 次郎		(給水車-1 台) (連絡車-1 台)
給水要員	氏 名：水道 三郎		
給水要員	氏 名：水道 四郎		
給水要員	氏 名：水道 五郎		
	氏 名：		

○応援班構成

人 員	給水用具	車両台数 (タンク容量)	備 考
5 人			(内 1 名は連絡要員)
	給水車 (加圧式)	4 m ³ 1 台	
	可搬ポリパック等	6.0ℓ 200 袋	背負い式
	仮設給水用具等	2 台	仮設水槽 (キャンバス) 仮設給水栓
合 計 5 人			

(表)

(被災水道事業体用)

整理番号 — —

応急給水作業指示書

作成日	年 月 日	備考	
-----	-------	----	--

記入上の 留意事項	・給水車ごとに作成 ・作業開始前にコピーを水道給水対策本部に提出 ●印箇所：水道給水対策本部が記入 ○印箇所：応急給水班が記入
--------------	--

●作業指示内容

事業体名	
給水車	号車 タンク容量 m ³ 加圧 有・無
給水拠点	
給水基地	
特記事項	

●作業指示者（ 水道給水本部）

事業体名	
担当者	氏 名： 連絡先電話：

○現地応急給水隊（応急給水班）

事業体名		作業員数	人
連絡責任者	氏 名： 連絡先電話：	車両ナンバー	

(裏)

(応援水道事業体用)

整理番号 — —

応急給水作業報告書

作成日	年 月 日	備考	
-----	-------	----	--

記入上の 留意事項	・時系列順に作業内容を記入 ・作業終了後、水道給水対策本部に提出
--------------	---

○作業内容 開始時間 終了時間

給水時間又は注水時間		給水拠点又は 給水基地	注水量	給水量	備考
1	: ~ :		m ³	m ³	
2	: ~ :		m ³	m ³	
3	: ~ :		m ³	m ³	
4	: ~ :		m ³	m ³	
5	: ~ :		m ³	m ³	
6	: ~ :		m ³	m ³	
7	: ~ :		m ³	m ³	
8	: ~ :		m ³	m ³	
9	: ~ :		m ³	m ³	
10	: ~ :		m ³	m ³	
11	: ~ :		m ³	m ³	
12	: ~ :		m ³	m ³	
13	: ~ :		m ³	m ³	
14	: ~ :		m ³	m ³	
作業時間合計		時間 分			
給水量合計		m ³			
注水量合計		m ³			
特記事項 (給水場所の様子等を記入)					

(表)

(被災水道事業体用)

整理番号 ◇◇-◇◇-◇◇

応急給水作業指示書

指示・報告等、一連の工程
を同一番号で管理。
枝番は必要に応じて付与。

作成日	令和○年○月○日	備考	
-----	----------	----	--

記入上の 留意事項	・給水車ごとに作成 ・作業開始前にコピーを水道給水対策本部に提出 ●印箇所：水道給水対策本部が記入 ○印箇所：応急給水班が記入
--------------	--

●作業指示内容

事業体名	◇◇市水道局
給水車	1号車 タンク容量 4 m ³ 加圧 有・無
給水拠点	◇◇小学校 (△△市△▼町×-×-××) △△市民会館 (△△市▽▽町◎-●●-▼) △△市民体育館 (△△市▽▽町△-◇-◎×)
給水基地	◆◇浄水場 (△△市▽▽町◆-×□)
特記事項	△△市民会館に仮設旧水槽 (キャンバス) 1台設置済み △△市民体育館は、受水槽に応急給水

●作業指示者 (○○地震△△市水道給水本部)

事業体名	△△市水道局
担当者	氏 名：水道 花子 連絡先電話：090 - **** - @@@@

○現地応急給水隊 (応急給水班)

事業体名	◇◇市水道局	作業員数	3 人
連絡責任者	氏 名：水道 太郎 連絡先電話：090 - #?& - \$\$@#	車両ナンバー	◇◇ ◎ ××-△▼

(裏)

(応援水道事業体用)

整理番号 ◇◇-◇◇-◇◇

応急給水作業報告書

作成日	令和○年○月○日	備考	
-----	----------	----	--

記入上の 留意事項	・時系列順に作業内容を記入 ・作業終了後、水道給水対策本部に提出
--------------	---

○作業内容 開始時間 午前 7:00 終了時間 午後 7:00 (19:00)

給水時間又は注水時間		給水拠点又は 給水基地	注水量	給水量	備考
1	7:00 ~ 7:30	◆◇浄水場	2.0m ³	m ³	
2	7:45 ~ 9:00	◇◇小学校	m ³	2.0m ³	
3	9:15 ~ 9:45	◆◇浄水場	2.0m ³	m ³	
4	10:30 ~ 11:00	○○市民会館	m ³	1.0m ³	キャンパス水槽 1 基 人はまばら
5	11:30 ~ 12:00	○○市民体育館	m ³	1.0m ³	受水槽、避難者減少
6	13:30 ~ 14:00	◆◇浄水場	2.0m ³	m ³	
7	14:15 ~ 15:45	◇◇小学校	m ³	2.0m ³	応急給水不足、行列あり
8	16:00 ~ 16:30	◆◇浄水場	2.0m ³	m ³	
9	16:45 ~ 19:00	◇◇小学校	m ³	2.0m ³	避難者数前日と変化なし
10	: ~ :		m ³	m ³	
11	: ~ :		m ³	m ³	
12	: ~ :		m ³	m ³	
13	: ~ :		m ³	m ³	
14	: ~ :		m ³	m ³	
作業時間合計		12時間 00分			
給水量合計		8.0 m ³			
注水量合計		8.0 m ³			
特記事項 (給水場所の様子等を記入)		・○○小学校は、避難者が多いため本日と同規模の応急給水活動が明日以降も必要と考える。 ・○○市民会館、○○市民体育館の受水槽等への応急給水は、避難者の減少に伴い給水量が減ったため、1 日当たり 1 回の補給を行えば充分と考える。			

応 急 給 水 作 業 予 定 表

No.

作 成 日	年 月 日	備 考	
-------	-------	-----	--

記入上の 留意事項	・当日の給水作業開始直後、作業指示書【様式16(表)】を基に水道給水対策本部が作成 ・給水活動の状況把握が目的
--------------	--

作 成 者	氏 名 : 連絡先番号 :
-------	------------------

NO.	事業体名	代表者氏名 連絡先番号	作業員数 (人)	タンク容量 (m ³)	加圧	給水拠点	備 考
1					有・無		
2					有・無		
3					有・無		
4					有・無		
5					有・無		
6					有・無		
7					有・無		
8					有・無		
9					有・無		
10					有・無		
11					有・無		
12					有・無		
13					有・無		
14					有・無		
15					有・無		
計	応援事業体数	給水車(台)	0名	0m ³	有 無	台(m ³) 台(m ³)	

応 急 給 水 作 業 予 定 表

No. 1

作 成 日	年 月 日	備 考	
-------	-------	-----	--

記入上の 留意事項	・当日の給水作業開始直後、作業指示書【様式16(表)】を基に水道給水対策本部 が作成 ・給水活動の状況把握が目的
--------------	--

作 成 者	氏 名 : 水道 花子 連絡先番号 : 090-1111-****
-------	--------------------------------------

NO.	事業体名	代表者氏名 連絡先番号	作業員数 (人)	タンク容量 (m ³)	加圧	給水拠点	備 考
1	〇〇市	水道 太郎 090-3333-****	2名	2m ³	☒ 有 ☐ 無	〇〇小学校 〇〇市民会館 〇〇市民体育館	〇〇-〇〇-〇〇
2	〇〇市	水道 二郎 090-4444-****	2名	2m ³	有 ☒ 無	●△△中学校 □□第一高校	〇〇日午後から 〇〇-〇〇-〇〇 ○
3	△△市	水道 太郎 090-5555-****	2名	4m ³	☒ 有 ☐ 無	〇〇市民病院	〇〇-〇〇-〇〇
4	△△市	水道 太郎 090-6666-****	2名	2m ³	☒ 有 ☐ 無	〇〇市役所	〇〇日午後から 〇〇-〇〇-〇〇 ○
5	□□市	水道 太郎 090-7777-****	2名	1m ³	有 ☒ 無	〇〇市役所	荷台積載型 〇〇-〇〇-〇〇 ○
6					有・無		
7					有・無		
8					有・無		
9					有・無		
10					有・無		
11					有・無		
12					有・無		
13					有・無		
14					有・無		
15					有・無		
計	応援事業体数 3	給水車(5台)	10名	11m ³	有 3 無 2	台(8.0m ³) 台(3.0m ³)	

応 急 給 水 作 業 集 約 表

No.

作 成 日	年 月 日	備 考	
-------	-------	-----	--

記入上の 留意事項	・当日の給水作業終了後、作業報告書【様式16(裏)】を基に水道給水対策本部が作成 ・実際の給水活動の集約が目的
--------------	--

作 成 者	氏 名 : 連絡先番号 :
-------	------------------

NO.	事業体名	給水車 台数	主な給水拠点	給水量	備 考 (給水車の内訳等を記入)
1				m ³	
2				m ³	
3				m ³	
4				m ³	
5				m ³	
6				m ³	
7				m ³	
8				m ³	
9				m ³	
10				m ³	
11				m ³	
12				m ³	
13				m ³	
14				m ³	
15				m ³	
計		0台		0 m ³	

応 急 給 水 作 業 集 約 表

No.1

作 成 日	令和〇年〇月〇日	備 考	
-------	----------	-----	--

記入上の 留意事項	・当日の給水作業終了後、作業報告書【様式16(裏)】を基に水道給水対策本部が作成 ・実際の給水活動の集約が目的
--------------	--

作 成 者	氏 名 : 水道 花子 連絡先番号 : 090-1111-****
-------	--------------------------------------

NO.	事業体名	給水車 台数	主な給水拠点	給水量	備 考 (給水車の内訳等を記入)
1	〇〇市	2台	〇〇小学校、〇〇市民会館、〇〇市民体育館、●△△中学校、□□第一高校	4 m ³	2m ³ 給水車:2台(1台加圧) 無加圧車は〇〇日午後から
2	△△市	2台	〇〇市民病院、〇〇市役所	6 m ³	2m ³ :1台、4m ³ :1台(加圧2台) 2m ³ 給水車は〇〇日午後から
3	□□市	1台	〇〇市役所	1 m ³	荷台積載型
4				m ³	
5				m ³	
6				m ³	
7				m ³	
8				m ³	
9				m ³	
10				m ³	
11				m ³	
12				m ³	
13				m ³	
14				m ³	
15				m ³	
計		5台		11 m ³	

水道施設被害状況等調査票

第 報

令和 年 月 日 時 現在

被災地事業体名					水道事業数	上水道	
被災地区名		(上水道・簡易水道)				簡易水道	
地域形状		山間部 ☐	市街地 ☐	沿岸部 ☐		飲料水供給施設	
全給水戸数	戸	全給水人口	人	地震名			
断水戸数	戸	断水人口	人	報告者			
復旧戸数	戸	復旧人口	人	連絡先	電話番号	Fax	
応急給水状況 (記入欄が不足する場合は、別紙作成など適宜対応すること)							
給水車台数	給水車容量	給水地区又は施設		配車事業体	注水場所	応急給水時間	給水予定期間
今後の見通し							
被害状況調査				応急復旧状況			
	被害状況	補足コメント		復旧状況	復旧時期	補足コメント	資機材調達等
水源・取水施設	未確認 ☐			未定 ☐			
	被害大 ☐			計画中 ☐			
	被害小 ☐			復旧中 ☐			
	被害無 ☐			完了 ☐			
導水施設	未確認 ☐			未定 ☐			
	被害大 ☐			計画中 ☐			
	被害小 ☐			復旧中 ☐			
	被害無 ☐			完了 ☐			
浄水施設	未確認 ☐			未定 ☐			
	被害大 ☐			計画中 ☐			
	被害小 ☐			復旧中 ☐			
	被害無 ☐			完了 ☐			
送水施設	未確認 ☐			未定 ☐			
	被害大 ☐			計画中 ☐			
	被害小 ☐			復旧中 ☐			
	被害無 ☐			完了 ☐			
配水施設	未確認 ☐			未定 ☐			
	被害大 ☐			計画中 ☐			
	被害小 ☐			復旧中 ☐			
	被害無 ☐			完了 ☐			
配水管路	未確認 ☐			未定 ☐			
	被害大 ☐			計画中 ☐			
	被害小 ☐			復旧中 ☐			
	被害無 ☐			完了 ☐			
給水施設	未確認 ☐			未定 ☐			
	被害大 ☐			計画中 ☐			
	被害小 ☐			復旧中 ☐			
	被害無 ☐			完了 ☐			
補足事項							
高速・一般道路状況など							
携帯電話等の通信状況							
宿泊施設の営業状況							
コンビニ等の営業状況							
給油スタンドの営業状況							
その他							

水道施設被害状況等調査票

令和〇年〇月〇日 〇〇時 現在

被災地事業体名		〇〇県 〇〇市		水道事業数		上水道	1
被災地区名		〇〇地区 (土水道・簡易水道)		水道事業数		簡易水道	6
地域形状		山間部 ☒	市街地 ☐	沿岸部 ☐	飲料水供給施設		0
全給水戸数	****戸	全給水人口	****人	地震名	令和〇年 〇〇地震 (〇〇月〇〇日)		
断水戸数	***戸	断水人口	***人	報告者	〇〇市水道部◎◎課長 ○△ ●◎		
復旧戸数	***戸	復旧人口	***人	連絡先	電話番号	** - ** - ****	Fax ** - ** - ****
応急給水状況 (記入欄が不足する場合は、別紙作成など適宜対応すること)							
給水車台数	給水車容量	給水地区又は施設	配車事業体	注水場所	応急給水時間	給水予定期間	
6台	2m ³	〇〇地区	自事業体所有	〇〇浄水場	8:00~19:00	収束まで	
4台	2m ³ ・4m ³	〇〇市民病院	□□市	同上	8:00~18:00	〇月〇日(予定)	
1台	2m ³	△△地区	□□企業団	同上	8:00~18:00	〇月〇日(予定)	
6台	2m ³	▽▽地区	□□町	同上	8:00~18:00	〇月〇日(予定)	
今後の見通し		・ 〇〇日〇〇時現在、□□市、□□企業団、□□町から計10台の給水車が応急給水活動中。(充足) ・ 〇〇日をもって、応援応急給水活動は終了の見込み。 ・ 以降は、本市が保有する6台(民間借り上げ車4台含む)で対応可能。					
被害状況調査				応急復旧状況			
	被害状況	補足コメント	復旧状況	復旧時期	補足コメント	資機材調達等	
水源・取水施設	未確認 ☒	・ 現場付近道路封鎖中	未定 ☒	未定			
	被害大 ☐	・ 〇日道路封鎖解除(予定)	計画中 ☐				
	被害小 ☐	・ 道路封鎖解除後調査(予定)	復旧中 ☐				
	被害無 ☐		完了 ☐				
導水施設	未確認 ☐	・ 導水管破損	未定 ☐		・ DIP φ150mm (K型)	〇〇市に資材の借用を要請(済)	
	被害大 ☒		計画中 ☐				
	被害小 ☐		復旧中 ☒	〇月〇日迄			
	被害無 ☐		完了 ☐				
浄水施設	未確認 ☐	・ 次亜塩素タンク転倒	未定 ☐				
	被害大 ☐		計画中 ☐				
	被害小 ☒		復旧中 ☐				
	被害無 ☐		完了 ☒	〇月〇日			
送水施設	未確認 ☐		未定 ☐				
	被害大 ☐		計画中 ☐				
	被害小 ☐		復旧中 ☐				
	被害無 ☒		完了 ☐				
配水施設	未確認 ☐		未定 ☐				
	被害大 ☐		計画中 ☐				
	被害小 ☐		復旧中 ☐				
	被害無 ☒		完了 ☐				
配水管路	未確認 ☐	・ 〇〇水管橋で漏水確認	未定 ☐		・ SP100mm (溶接)	補修金具類(常備品)	
	被害大 ☐		計画中 ☐				
	被害小 ☒		復旧中 ☒	本日中			
	被害無 ☐		完了 ☐				
給水施設	未確認 ☐	・ 漏水受付対応中	未定 ☐				
	被害大 ☐	・ 大半は宅地内漏水(管工事組合を紹介)	計画中 ☐				
	被害小 ☒	・ 公道部漏水修理対応中	復旧中 ☒	2週間程度			
	被害無 ☐		完了 ☐				
補足事項							
高速・一般道路状況など	・ 山間部は落石のため一般道通行止め(〇〇地区住民は避難済み) ・ 高速道路は通行可能						
携帯電話等の通信状況	・ 山間部では、携帯電話全社不通(復旧見込みは▼日) ・ 有線電話のみ通話可能						
宿泊施設の営業状況	・ 市街地に限り支障なし						
コンビニ等の営業状況	・ 概ね支障なし(一部店舗は閉鎖中)						
給油スタンドの営業状況	・ 市街地に限り概ね支障なし						
その他							

(表)

No. _____

応急復旧応援体制報告書

作成日	年 月 日	派遣期間	月 日() ~ 月 日()
-----	-------	------	-----------------

記入上の 留意事項	・応援班到着時、及び応援班構成変更時に作成し、 現地の水道給水対策本部に提出
--------------	---

○応援班連絡先

事業体名		通水及び 漏水調査班数	班
総括責任者	氏 名 : 連絡先電話 :	応急復旧班数	班

○応援班構成

作業内容	人 員 (人)	持参資機材等	備 考
総括班 (連絡調整)	人		
総括班 (記録)	人		
通水及び漏水調査班 (通水及び漏水調査)	人		
修理班 (配水管、給水管修理)	人		
修理班 (配水管、給水管修理)	人		
合 計	人		

地震等緊急時対応の手引き 様式 20(裏)

(応援水道事業体用)

(裏)

令和 年 月 日提出

水道局		応急復旧班	
総括班	氏 名	携帯電話番号	派遣期間（予定）
	（責 任 者）		月 日（ ） ～ 月 日（ ）
通水及び漏水調査班	（責 任 者）		月 日（ ） ～ 月 日（ ）
修理班（ ）	（責 任 者）	現場代理人	月 日（ ） ～ 月 日（ ）

(表)

No. 1

応急復旧応援体制報告書

作成日	令和○年○月○日	派遣期間	令和○月○日(○)～○月○日(○)
-----	----------	------	-------------------

記入上の 留意事項	・応援班到着時、及び応援班構成変更時に作成し、 現地の水道給水対策本部に提出
--------------	---

○応援班連絡先

事業体名	〇〇市水道局	通水及び 漏水調査班数	1 班
総括責任者	氏 名：水道 太郎 連絡先電話：090-1111-****	応急復旧班数	2 班

○応援班構成

作業内容	人 員 (人)	持参資機材等	備 考
総括班 (連絡調整)	1 人		責任者：水道 太郎 連絡先：090-1111-****
総括班 (記録)	1 人		
通水及び漏水調査班 (通水及び漏水調査)	4 人	相關式漏水発見 装置	責任者：水道 一郎 連絡先：090-3333-****
修理班 (配水管、給水管修理)	6 人	ダンプトラック (2 t) クレー付きトラック (4 t) バックホウ (0.08 m ³) その他資機材 一式	会社名：〇〇建設工業(株) 責任者：建設 太郎
修理班 (配水管、給水管修理)	6 人	ダンプトラック (2 t) クレー付きトラック (4 t) バックホウ (0.08 m ³) その他資機材 一式	会社名：(株)△△建設 責任者：土木 次郎
合 計	18 人		

(裏)

令和○年○月○日提出

〇〇市水道局		応急復旧班	
総括班	氏 名	携帯電話番号	派遣期間 (予定)
	(責 任 者) 水道 太郎	090-1111-****	○月○日(○) ～○月●日(●)
	(記録) 水道 次郎		
通水及び漏水調査班	(責 任 者) 水道 一郎	090-3333-****	○月○日(○) ～○月●日(●)
	水道 三郎		
	水道 四郎		
	水道 五郎		
修理班 (〇〇建設工業株)	(責 任 者) 建設 太郎	現場代理人 090-5555-****	○月○日(○) ～○月●日(●)
	建設 一郎		配管工
	建設 次郎		
	建設 三郎		
	建設 史郎		重機オペレーター
	建設 伍郎		

(表)

整理番号 — —

漏水調査受付書

記入上の 留意事項	・ 通報者から可能な限り詳細を聞き取る。 ・ 住宅地図、配管図に漏水箇所を明示し添付。
--------------	--

受付番号	—
受付日時	年 月 日 曜日 時 分
通 報 者	氏名： 連絡先電話： 住所：
受 付 者	事業体名： 氏名： 電話： — —

場 所		
漏水状況	場 所	☐ 道路（車道・歩道・私道・その他） ☐ 宅地内（メータ上流・下流）
	舗 装	☐ アスファルト ☐ コンクリート ☐ 砂利 ☐ その他（ ）
	道 路	☐ 陥没 ☐ 隆起 ☐ 割裂 ☐ 損傷なし ☐ その他（ ）
	漏 水	☐ 漏水中 ☐ 漏水痕 ☐ その他（ ）
	漏水量	☐ 大 ☐ 中 ☐ 小
備 考		

整理番号 — —

(応援水道事業体用)

[illegible]

(表)

整理番号 ○○—○○—○○

漏水調査受付書

受付・現地調査・修理等、一連の工程を同一番号で管理。枝番は必要に応じて付与。

記入上の 留意事項	・ 通報者から可能な限り詳細を聞き取る。 ・ 住宅地図、配管図に漏水箇所を明示し添付。
--------------	--

受付番号	○○—○○
受付日時	令和○○年○月○日○曜日 ○○時○○分
通 報 者	氏名：○○ ●◎ 連絡先電話： #####-****-@@@@ 住所：○○市▽△町*丁目@-**
受 付 者	事業体名： 氏名：水道 太郎 ○○市水道局 電話：090-1111-****

場 所	○○市▽△町*丁目@-** ○○ ●◎宅前の車道部	
漏水状況	場 所	■道路 (車道・歩道・私道・その他) □宅地内 (メータ上流・下流)
	舗 装	■アスファルト □コンクリート □砂利 □その他 ()
	道 路	■陥没 □隆起 □割裂 □損傷なし □その他 ()
	漏 水	■漏水中 □漏水痕 □その他 ()
	漏水量	■大 □中 □小
備 考	・ ○○ ●◎宅前の道路から水がブロック塀倒壊。 ※漏水量 (通報者の主観による) 大：大量の水が噴き出して道路陥没や、家屋に影響 中：水は溢れているが家屋等への影響は、現時点では無い 小：水が道路等にじむ程度	

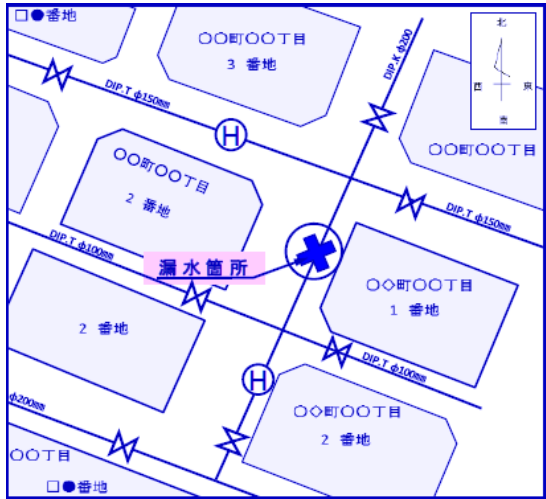
(裏)

整理番号 ○○—○○—○○

漏水調査報告書

(応援水道事業体用)

記入上の 留意事項	- 現地調査後に記入し、水道給水対策本部に提出。 - 仮配管、仕切弁新設等、管路を修理しない復旧工事について備考欄に内容を記載。
--------------	---

調査番号	○○—○○
調査日時	令和○○年○月○日○曜日 ○○時○○分
調査担当者 (代表者)	事業体名： 氏名：水道 二郎 ○○市水道局 電話：090-2222-****
場 所	○○市▽△町*丁目@-** ○○ ●◎宅前の車道部
漏水状況	区 分 ☒ 道路 (車道・歩道・私道・その他) ☐ 宅地内 (メータ上流・下流)
	舗 装 ☒ アスファルト ☐ コンクリート ☐ 砂利 ☐ その他 ()
	道 路 ☒ 陥没 ☐ 隆起 ☐ 割裂 ☐ 損傷なし ☐ その他 ()
	漏 水 ☒ 漏水中 ☐ 漏水痕 ☐ 修理済み ☐ その他 ()
	漏水量 ☒ 地上流出 (大 中 小) ☐ 地下流出 (大 中 小)
漏水確認	残 塩 ☒ あり (m g/l) ☐ なし
漏水管路	☐ 導水管 ☐ 送水管 ☒ 配水管 (配水本管・配水支管) ☐ 給水管 (メーター上流) ☐ 給水管 (メーター下流) ☐ 不明
修 理	必要性 ☒ あり ☐ なし ☐ 経過観察
	緊急性 ☒ 高い ☐ 通常 ☐ 低い ☐ その他 ()
備 考	※ 修理者に対して指示がある場合は具体的に記入してください。  ・車道センターライン付近から水が噴出 ・○○ ●◎宅のブロック塀倒壊 (写真) ・配水支管 (φ200 mm) の漏水 ・バルブで止水完了 (止水バルブは別紙配管図による)

応急復旧活動対応表

No.

活 動 日	令和 年 月 日	被災事業体名
記入責任者	氏名： 連絡先電話：	

記入上の 留意事項	・当日の受付状態、漏水調査班、管路修理班の動向を把握することが目的 ・PCで管理することで住所検索等が容易となり、修理依頼等の重複を防止することが可能
--------------	--

整理 番号	漏水受付							漏水調査			漏水修理				備 考 (受付番号等)
	日時	事業体名	漏水場所					調査日	事業体名・氏名	修理	依頼日	完了日	事業体名・監督員	施工業者名・担当者	
		受付者	市(区)	町	丁目	番地	住宅・地先名		連絡先電話		時間	時間	連絡先電話	連絡先電話	
1										要・不要					
2										要・不要					
3										要・不要					
4										要・不要					
5										要・不要					
6										要・不要					
7										要・不要					
8										要・不要					
9										要・不要					
10										要・不要					
11										要・不要					
12										要・不要					

応急復旧活動対応表

No. 1

活 動 日	令和〇年〇月〇日	被災事業体名	〇〇市水道局
記入責任者	氏名：水道 花子 連絡先電話：090－1111－****		

記入上の 留意事項	・当日の受付状態、漏水調査班、管路修理班の動向を把握することが目的 ・PCで管理することで住所検索等が容易となり、修理依頼等の重複を防止することが可能
--------------	--

整理 番号	漏水受付							漏水調査			漏水修理				備 考 (受付番号等)
	日時	事業体名	漏水場所					調査日	事業体名・氏名	修理	依頼日	完了日	事業体名・監督員	施工業者名・担当者	
		受付者	市(区)	町	丁目	番地	住宅・地先名		連絡先電話		時間	時間	連絡先電話	連絡先電話	
1	〇/〇 8:20	〇〇市水道局 水道 太郎	〇〇市	△町	*	*－▽	◎◎宅地先	〇/〇	▽〇市水道局:△□ 090-9999-*****	要・不要	〇/〇 11:20	〇/〇 15:20	▽〇市水道局:△□ ◎◎ 090-9999-*****	090-9999-***** 水道建設(株): ◎▽ □□ 090-8888-@@@	〇〇-〇〇-〇〇 ・報告書及び現場写真提出済
2	〇/〇 8:21	〇〇市水道局 水道 二郎	〇〇市	△町	*	▼－▽	スーパー◎◎ 前歩道	〇/〇	▽〇市水道局:△□ 090-10000-*****	要・不要					〇〇-〇〇-〇〇 ・報告書作成中 ・雨水を誤認
3	〇/〇 9:10	〇〇市水道局 水道 太郎	〇〇市	〇〇町	@	▽	◎◎宅地	〇/〇	□◇市水道局:〇▽ 090-10001-*****	要・不要	〇/〇 13:30	〇/〇 14:50	□◇市水道局:〇▽ ◎◎ 090-10001-*****	凸凹建設(株):□▽ □◎ 090-1111-@@@	〇〇-〇〇-〇〇 ・報告書及び現場写真提出済
4	〇/〇 9:15	〇〇市水道局 水道 三郎	〇〇市	□□町	π	*	〇◎宅地	〇/〇	□◇市水道局:〇▽ 090-10002-*****	要・不要					〇〇-〇〇-〇〇 ・報告書作成中
5	〇/〇 10:24	〇〇市水道局 水道 太郎	〇〇市	□△町	φ	■◇	△〇宅地先	〇/〇	▽〇市水道局:△□ 090-10003-*****	要・不要	〇/〇 12:20	〇/〇 16:45	▽〇市水道局:△□ ◎◎ 090-10002-*****	〇〇建設工業(株): ▽◎ □□ 090-8891-@@@	〇〇-〇〇-〇〇 ・報告書作成中 ・井戸水を水道漏水と誤認
6	〇/〇 11:25	〇〇市水道局 水道 二郎	〇〇市	〇▽町	*	▽◇	(株)□▼□前 車道部	〇/〇	▽〇市水道局:△□ 090-10004-*****	要・不要	〇/〇 13:00	〇/〇 17:20	▽〇市水道局:□〇 ◎△ 090-9999-*****	(株)凹凸設備工業: ◎▽ □□ 090-8891-@@@	〇〇-〇〇-〇〇 ・報告書作成中
7										要・不要					
8										要・不要					
9										要・不要					
10										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					

地震等緊急時対応の手引き 様式 23(表)

(応援水道事業体用)

(表)

整理番号

管路修理報告書

記入上の 留意事項	・ 施工前と施工後の配管図は、可能な限り詳細に記入
--------------	---------------------------

工事番号	
施工期間	年 月 日 曜日 時 分 ～ 月 日 曜日 時 分
監 督 者	事業体名： 氏名： 電話：
施工業者 (代表者)	施工業者名： 氏名： 電話：

場 所	
被害施設	☐ 管路 ☐ 付属設備 ☐ その他()
修理管路	漏水管路 ☐導水管 ☐送水管 ☐配水管 (配水本管・配水支管) ☐給水管 (メーター上流) ☐給水管 (メーター下流)
	口 径
	材 質 ☐DIP ☐CIP ☐SP ☐VP ☐ポリエチレン ☐LP ☐その他 ()
	継手形式 ☐A 形 ☐K 形 ☐T 形 ☐S、SII 形 ☐NS 形 ☐GX 形 ☐KF、UF 形 ☐フランジ形 ☐溶接 ☐ねじ込み ☐TS ☐RR ☐融着 ☐不明 ☐その他 ()
付属設備	☐ 消火栓 ☐ 空気弁 ☐ バルブ・止水栓 ☐ サドル分水栓 ☐ その他 ()
被害状況	管路 ☐タテ割れ ☐ヨコ割れ ☐折れ ☐破断 ☐その他 ()
	継手 ☐抜け ☐ズレ ☐割れ ☐ゴム輪 (破断、ズレ) ☐その他 ()
	付属設備 ☐機能不全 ☐抜け ☐割れ ☐変形 ☐ズレ ☐その他 ()
地盤状況	道路状況
	クラック幅 ☐管直角方向 ☐水平方向 cm (1cm 以上を記入) ☐段差 (沈下量) cm (漏洩位置から m 範囲内 (全体で m))
	地盤の傾斜 ☐なし ☐管軸方向 ☐管直角方向 (傾斜角度 ° °)
	液状化 ☐有り ☐無し ※近くに噴砂跡の有無 盛土 ☐
備 考	

地震等緊急時対応の手引き 様式 23(裏)

(応援水道事業体用)

(裏)

現場見取り図

配管図 (施工前)

配管図 (施工後)

使用材料集計

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(表)

整理番号 ○○-○○-○○

管路修理報告書

受付・現地調査・修理等、一連の工程を同一番号で管理。枝番は必要に応じて付与。

記入上の留意事項	・ 施工前と施工後の配管図は、可能な限り詳細に記入
----------	---------------------------

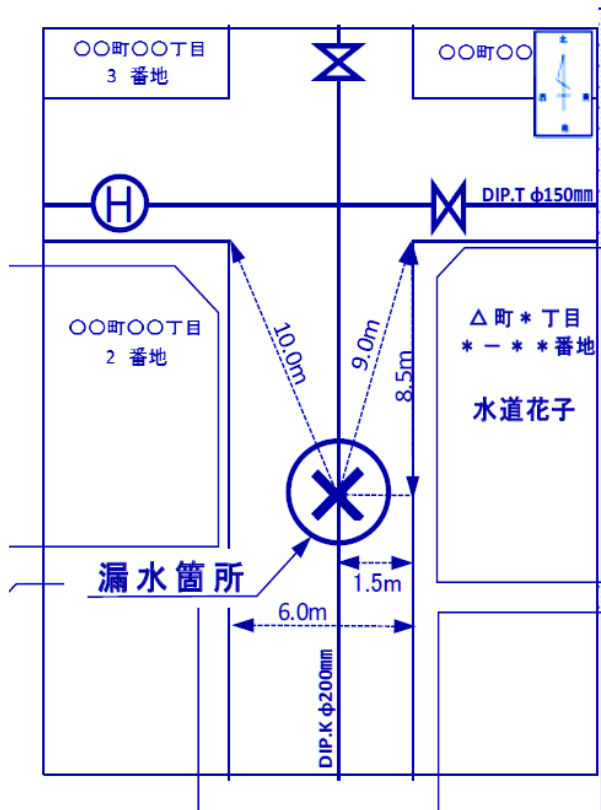
工事番号	○○-○○
施工期間	令和○年○月○○日△曜日○○時○○分 ～ ○月●○日▽曜日◎○時○●分
監督者	事業体名：○○市水道局 氏名：水道 三郎 電話：090-1111-@@@@
施工業者(代表者)	施工業者名：▽△設備工業(株) 氏名：土木 一郎 電話：090-xxxx-xxxx

場 所	〇〇市 △ 町 * 丁目 * - * * 番地（車道部） 水道 花子 宅地内				
被害施設	■管路 □付属設備 □その他（ ）				
修理管路	漏水管路	□導水管 □送水管 ■配水管（配水本管・配水支管） □給水管（メーター上流） □給水管（メーター下流）			
	口 径				
	材 質	□DIP ■CIP □SP □VP □ポリエチレン □LP □その他（ ）			
	継手形式	■A 形 □K 形 □T 形 □S、SⅡ形 □NS 形 □GX 形 □KF、UF 形 □フランジ形 □溶接 □ねじ込み □TS □RR □融着 □不明 □その他（ ）			
付属設備	□消火栓 □空気弁 □バルブ・止水栓 □サドル分水栓 □その他（ ）				
被害状況	管路	□タテ割れ □ヨコ割れ □折れ □破断 □その他（ ）			
	継手	■抜け □ズレ □割れ □ゴム輪（破断、ズレ） □その他（ ）			
	付属設備	□機能不全 □抜け □割れ □変形 □ズレ □その他（ ）			
地盤状況	道路状況	□異常なし □陥没 □隆起 ■割裂 □その他（ ）			
	クラック幅	□管直角方向 ■水平方向 cm（1cm 以上を記入） ■段差（沈下量） cm（漏洩位置から m 範囲内（全体で m））			
	地盤の傾斜	□なし □管軸方向 ■管直角方向（傾斜角度≡ °）			
液状化	□有り ■無し ※近くに噴砂跡の有無		盛土	□	
備 考	・ 通水後、約 10m離れた位置（△町*丁目*-*〇番地先）で漏水を確認。 ・ バルブ閉止により本日の作業終了。（給水対策本部に連絡済み：●時〇〇分 ◎〇受け） ・ 新たな漏水箇所の補修は、明日実施予定。				

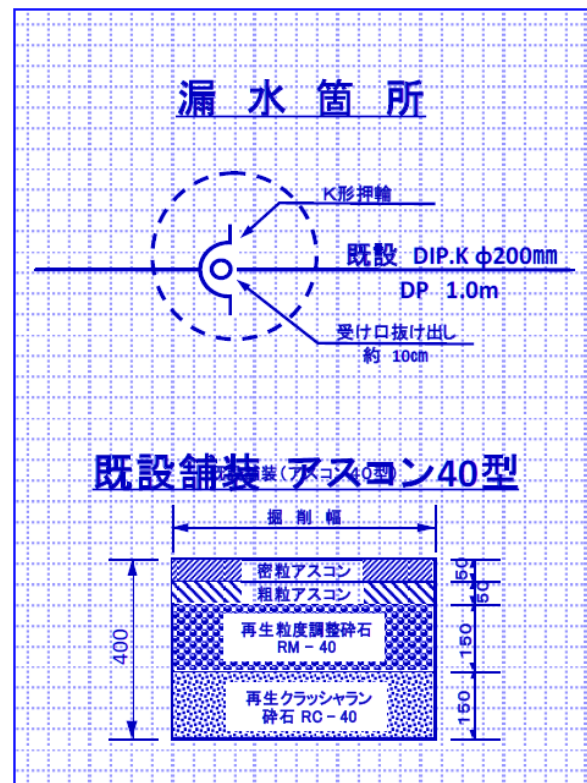
(裏)

(応援水道事業体用)

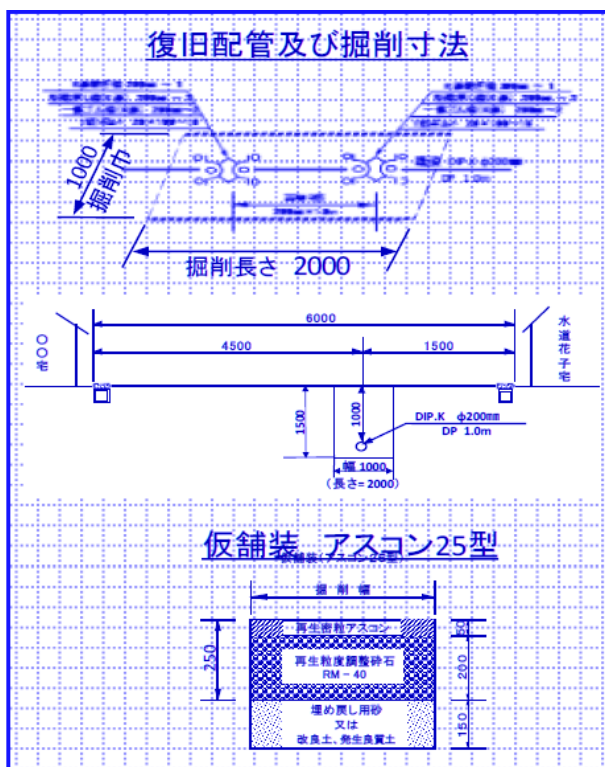
現場見取り図



配管図 (施工前)



配管図 (施工後)



使用材料集計

- ・両切り管 200 mm ~ 1.0 m
- ・K形継ぎ輪 200 mm ~ 2
- ・特殊押し輪 (K形) 200 mm ~ 4
- ・一体ゴム輪 (K形) 200 mm ~ 4
- ・T頭ボルト 20×100~3.2

撤去材

- ・受け口切り管 200 mm ~ 1.1 m
- ・押し輪 (K形) 200 mm ~ 1
- ・一体ゴム輪 (K形) 200 mm ~ 1
- ・T頭ボルト 20×100~8

管 路 修 理 集 約 表

活 動 日	年 月 日	被災事業体名：
記 入 者	氏名： 連絡先電話：	

記入上の留意事項	資料－14管路修理報告書の集約に使用する。
----------	-----------------------

No. _____

番号	管路区分	管路属性			被害形態		被害施設住所					施工日		施 工 者			備 考 (修理指示番号等)
		管 種	口 径	継 手	管 路	付属設備	市(区)	町	丁目	番地	住宅・地先名	開 始	完 了	地方支部名	事業体名	業者名	
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	

導水管	DIP、CIP	印籠型	継手抜け	機能不全
送水管	SP、VP、	A型、K型	継手漏水	破損
配水管(本・支)	PE等を	T型、NS型	管体破損	等を記入
給水管	記入	溶接、ねじ	継手破損	
(メータ上・下流)		TS、RR	属具破損	
を記入する		電気融着	その他	
		等を記入	不明	
			等を記入	

活 動 日

令和〇年〇月〇日

被災事業体名：〇〇市水道局

記 入 者

氏名：水道 太郎

連絡先電話：090-1111-@@@@

記入上の留意事項

資料－14管路修理報告書の集約に使用する。

No 1

番号	管路区分	管路属性			被害形態		被害施設住所					施工日		施 工 者			備 考 (修理指示番号等)
		管 種	口 径	継 手	管 路	付属設備	市(区)	町	丁目	番地	住宅・地先名	開 始	完 了	地方支部名	事業体名	業者名	
1	導水管	SP	500	溶接	継手漏水		〇〇市	〇町	*	**	▽△公園前 車道部	〇/〇	●/●	〇●地方支部	●●市	▽△設備工業(株)	〇〇-〇〇-〇〇 漏水補修金具
2	配水管(本)	DIP	600	K型	継手抜け	空気弁 機能不全	〇〇市	△町	*	*	スーパー●〇 前車道部	〇/〇	●/●	〇〇地方支部	▽△市	□□建設(株)	〇〇-〇〇-〇〇 ゴム輪破断
3	配水管(支)	CIP	150	A型	管体破損	バルブ 破損	〇〇市	△町	**	**	(株)〇〇前 歩道	〇/〇	●/●	〇〇地方支部	□●市	(株)◇□建設興行	〇〇-〇〇-〇〇 破損部取り替え
4	配水管(支)	SP	50	ねじ	継手破損		〇〇市	□〇町	*	**	〇〇宅前 車道部	〇/〇	●/●	□△地方支部	△〇町	(有)会社◇□給水設備	〇〇-〇〇-〇〇 破損部取り替え
5	配水管(本)	SP	400	溶接	管体破損	空気弁 破損	〇〇市	△町	*	*	▽△橋左岸 橋梁添架管	〇/〇	●/●	△〇地方支部	〇□市	(株)〇〇土木	〇〇-〇〇-〇〇 補修クランプ設置
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
導水管 送水管 配水管(本・支) 給水管 (メータ上・下流) を記入する		DIP、CIP SP、VP、 PE等を 記入		印籠型 A型、K型 T型、NS型 溶接、ねじ TS、RR 電気融着 等を記入		継手抜け 継手漏水 管体破損 継手破損 属具破損 その他 不明 等を記入		機能不全 破損 等を記入									

管路被害算定表（管種・口径・被害形態別）

作成日時	令和 年 月 日 時現在	被災事業体名：	記入上の 留意事項	管種・継手形状ごとに分類 し集計する。
記入者	氏名：	連絡先電話：		

管種・継手													
被害形態		継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備
口径	40mm												
	50mm												
	75mm												
	100mm												
	125mm												
	150mm												
	200mm												
	250mm												
	300mm												
	350mm												
	400mm												
	500mm												
	600mm												
	700mm												
	800mm												
	mm												
	mm												
	mm												
小計 (件)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0						0					
管路延長 (km)													
被害率 (件/km)		#DIV/0!						#DIV/0!					

※被害率の算出にあたっては、付属設備の被害件数を除く

管種・継手													
被害形態		継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備
口径	40mm												
	50mm												
	75mm												
	100mm												
	125mm												
	150mm												
	200mm												
	250mm												
	300mm												
	350mm												
	400mm												
	500mm												
	600mm												
	700mm												
	800mm												
	mm												
	mm												
	mm												
小計 (件)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0						0					
管路延長 (km)													
被害率 (件/km)		#DIV/0!						#DIV/0!					

※被害率の算出にあたっては、付属設備の被害件数を除く

合 計	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備
	0	0	0	0	0	0
0						
管路全延長 (k m)	0.0					
被害率 (件/ k m)	#DIV/0!					

管路被害算定表（管種・口径・被害形態別）

作成日時	令和〇年〇月〇日18：30時現在	被災事業体名：〇〇市水道局	記入上の 留意事項	管種・継手形状ごとに分類 し集計する。
記 入 者	氏名： 水道 花子	連絡先電話：090-1111-****		

管種・継手		CIP-A						VP-TS					
被害形態		継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備
口 径	40mm							11	1	25	5	8	
	50mm				1			32	13	52	33	11	
	75mm	12	5		6	1	5	2	2	1	3		1
	100mm	21	17		15	3	12			1	2		1
	125mm							1					
	150mm	31	20		7	3	2				1		
	200mm	7	5				2	1					1
	250mm	3				1	1						
	300mm	3											
	350mm	1											
	400mm	4				1							
	500mm	2											
	600mm												
	700mm												
	800mm												
	mm												
	mm												
	mm												
小計 (件)		84	47	0	29	9	22	47	16	79	44	19	3
		191						208					
管路延長 (km)		522.1						253.7					
被害率 (件/km)		0.32						0.81					

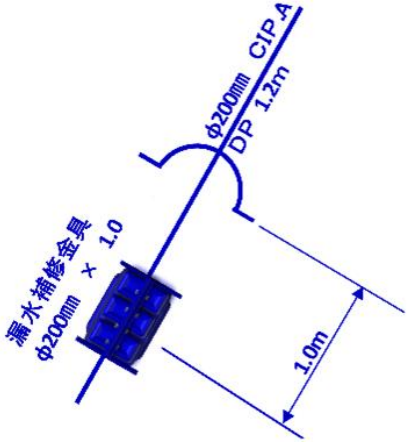
※被害率の算出にあたっては、付属設備の被害件数を除く

管種・継手		SP（ねじ継手）						DIP-K					
被害形態		継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備
口 径	40mm		20	6	13								
	50mm	3		18	12								
	75mm			5			2	1					
	100mm	1		3			2	5		3			1
	125mm							3					1
	150mm							2		1			
	200mm							1					
	250mm							1					
	300mm												
	350mm												
	400mm												
	500mm												
	600mm												
	700mm												
	800mm												
	mm												
	mm												
	mm												
小計 (件)		4	20	32	25	0	4	13	0	4	0	0	2
		85						19					
管路延長 (km)		17.4						252.5					
被害率 (件/km)		4.66						0.07					

※被害率の算出にあたっては、付属設備の被害件数を除く

合 計	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備
	148	83	115	98	53	31
528						
管路全延長 (k m)	1,045.7					
被害率 (件/ k m)	0.48					

黒板（撮影表示板）作成（例）

工事名	(記載例) 〇〇〇〇地震災害復旧工事	……工事名として左記のように記入
工 種	〇〇-〇〇-〇〇 配水管 (φ 200 mm CIP. A) 漏水修理	……整理番号、受付番号等を記入
位 置	〇〇市 (区) 〇〇町〇〇番地先	……住所（施工場所）を記入
撮影月日	令和 〇 年 〇 月 〇〇日	……撮影年月日を記入
略 図	施工者  (〇〇県支部 □▽市水道局) 凸凹建設㈱ 現場代理人 〇〇 ●▽□ 連絡先 090-999-〇〇●●	……施工者名を記入 修理に使用した材料・口径・延長を図化する（管割図）

水道施設の被災・復旧状況一覧表

報告種別	報告者	報告日	報告時間

被災都道府県	被災水道事業体	被災・復旧地域等	幹事応援水道事業体

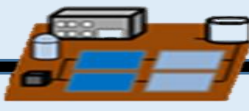
[illegible]

※各項目の主な記載内容については、別紙参照

申し送り事項等

水道施設の被災・復旧状況一覧表

【記載例】

報告種別		報告者	報告日	報告時間				
地方支部長⇒広域調整隊(現地対策本部)		●●地方支部	●月●日	17:00				
被災都道府県	被災水道事業体	被災・復旧地域等		幹事応援水道事業体				
●県	●●市水道局	●●市、▲▲町		●●市上下水道局				
被災・復旧地域等	浄水場名	①水源 ②導水管③浄水場④送水管⑤配水池⑥配水管						
		主な浄水場等 (水源→導水管→浄水場)			送・配水施設 (送水管→配水池→配水管)			経過
		①水源	②導水管	③浄水場	④送水管	⑤配水池	⑥配水管	
●●市 【復旧実績】 ・送配水管総延長： ●●●m ・送配水管 充水延長： ●●●m ・復旧率： ●.●%	●●浄水場 (6,000m3/日)	○	○	○	○	○ ●●配水池	○	
					○	○ ●●配水池	× 充水作業中	2/19:●●ポンプ場まで充水
					○	× ●●配水池	×	2/15:配水池損傷部修繕中
					× 通水不可	× ●●配水池	×	2/1:●●地域送水管、土砂流出により復旧不可
					× 漏水調査中	× ●●配水池	×	2/2:漏水調査完了(2/3)
	●●浄水場 (4,800m3/日)	○	○	○	○	○ ●●配水池	○	
					○	○ ●●配水池	○	
					×	× ●●配水池	×	1/30:導水管充水予定(2/2) 2/5:浄水場機械設備修繕中
					○	○ ●●配水池	× 漏水調査中	2/20:●●配水区給水水予定(2/25)
					×	× ●●配水池	×	2/7:送水管充水予定(2/10)
▲▲町 【復旧実績】 ・送配水管総延長： ●●●m ・送配水管 充水延長： ●●●m ・復旧率： ●.●%	▲▲浄水場 (5,000m3/日)	○	○	○	○	○ ▲▲配水池	× 充水作業中	2/20:水質試験合格済み、 ▲▲配水区給水予定 (2/21)
					○	○ ▲▲配水池	○	
					○	○ ▲▲配水池	○	
					○	○ ▲▲配水池	× 修繕中	2/18:▲▲配水区300m修繕済み、残延長150m
	▲▲浄水場 (2,000m3/日)	○	○	× 修繕中	×	× ▲▲配水池	×	2/1:沈澱池下部損傷(クラック)箇所修繕中

※各項目の主な記載内容については、別紙参照

申し送り事項等